



25th Summer Deaflympics Tokyo 2025

Games Service Guide for CdM



目 次

1. はじめに	5
1.1 あいさつ	6
1.2 用語集	7
2. 東京 2025 デフリンピック	9
2.1 主要日	10
2.2 大会運営体制	10
2.2.1 組織	11
2.2.2 ガバナンス	12
2.3 持続可能性	12
2.4 情報保障	12
2.5 連絡・情報提供方法	12
2.6 政治的行為等の禁止	12
3. 選手団登録	13
3.1 スポーツエントリーの概要	14
3.1.1 タイムライン（日程・スケジュール）	14
3.1.2 登録関連書類	14
3.1.3 大会参加料の徴収	15
3.2 オンライン・マネジメント・システム（OMS）	15
3.3 スポーツエントリープロセス	15
3.3.1 オンライン・エントリー	15
3.3.2 最終提出及び締切り	16
3.4 ID カード	16
3.4.1 概要	16
3.4.2 発行場所	17
3.4.3 発行条件	17
3.4.4 大会参加時における ID カード	18
3.4.5 救急医療情報カード	18
3.5 聴力検査	19
4. 通関及び貨物輸送	21
4.1 通関手順	22
4.1.1 携帯品又は別送品に対する免税	22
4.1.2 保険	22
4.2 到着時の税関手続	22
4.2.1 別送品手続	22
4.2.2 支払手段等の携帯輸出入の手続	23
4.3 銃器・弾薬	23
4.4 医薬品及び医療機器	24
5. 入国	25
5.1 公式空港	26
5.2 入国情の指定等	26
5.3 短期査証発行手続	26
5.3.1 短期査証発給サポート	26
5.4 入国プロセス	27
5.4.1 検疫	27
5.4.2 入国情査	28
5.4.3 手荷物受取	28

6. 出国	29
6.1 公式空港	30
6.2 出国日の指定	30
6.3 出国手続	30
6.3.1 通常出国手続	30
7. 宿泊	31
7.1 宿泊施設の予約	32
7.1.1 早期予約の必要性	32
7.1.2 早期予約のメリット	32
7.1.3 早期予約しなかった場合のデメリット	32
7.1.4 予約の手続	32
7.1.5 予約のスケジュール	33
7.1.6 予約のキャンセル	35
7.2 宿泊料の支払い	36
7.3 旅行契約の締結	36
7.4 宿泊施設の概要	36
7.5 宿泊先のサービス	38
7.5.1 各宿泊施設での対応	38
7.5.2 飲食	38
7.5.3 ランドリー	38
7.5.4 宿泊時の急病人等への対応	38
7.6 上記以外の宿泊	38
8. デフリンピックスクエア	39
8.1 設置期間・場所	40
8.2 ゾーンとアクセスコントロールポイント	41
8.2.1 施設案内	41
8.2.2 NYC内マップ	41
8.3 デフリンピックスクエアでのルール	41
8.4 運営諸室	42
8.4.1 問合せ窓口	42
8.4.2 NDSF用会議室	42
8.4.3 救護所	42
8.4.4 選手交流ラウンジ	42
8.4.5 ウォームアップエリア	42
8.4.6 手荷物サービス	42
8.5 技術会議	42
8.6 スポーツ・インフォメーション・センター (SIC)	42
8.7 メディアセンター	43
8.8 飲食サービス	43
8.9 セキュリティ	43
8.10 緊急時の対応	43
8.11 遺失物	43
8.12 デフリンピックスクエアの Wi-Fi 環境	43
9. 競技	45
9.1 競技会場	46
9.2 競技スケジュール	46
9.3 競技用具	46
9.4 練習会場	46
9.4.1 大会期間中の練習会場	46

9.4.2 大会期間前の練習会場	47
9.5 提供されるサービス	47
9.5.1 計量	47
9.5.2 飲食サービス	47
9.5.3 清掃サービス	47
9.5.4 競技会場等のインターネット環境	47
9.5.5 救護サービス	48
9.6 アンチ・ドーピング	48
9.6.1 アンチ・ドーピングプログラム	48
9.6.2 啓発活動	49
9.6.3 大会期間中の運営	49
9.6.4 治療目的での使用に関する免除	49
9.7 表彰式	50
9.8 スポーツ・インフォメーション・デスク (SID)	50
9.9 会場における技術撮影	50
9.10 競技会場における遺失物	50
10. 輸送	51
10.1 輸送の考え方	52
10.1.1 所要時間及びルート図	52
10.1.2 指定乗降地	52
10.2 選手団輸送	52
10.2.1 選手用バス時刻表	52
10.2.2 空港輸送	53
10.2.3 競技期間中の輸送	53
10.2.4 遠方で実施する競技の輸送	54
10.2.5 開閉会式輸送	55
10.2.6 観戦目的の輸送	55
10.3 自己手配で宿泊施設を予約した国の輸送	55
10.4 レンタカーの利用	56
10.5 車両認証 / 駐車許可証	56
10.6 荷物輸送	56
10.7 公共交通機関利用	56
11. セレモニー	57
11.1 開閉会式	58
11.1.2 開閉会式のセキュリティ	58
11.1.3 開閉会式時携行禁止物品及び服装	58
11.2 表彰式	59
11.2.1 表彰時携行禁止物品	59
11.2.2 賞状・参加証及びメダルケースの配布	59
11.2.3 国旗及び国歌のデータ収集	59
12. 会場警備	61
12.1 競技会場	62
12.2 会場における持込禁止物品及び制限品	62
13. ユニバーサルコミュニケーション	63
13.1 ユニバーサルコミュニケーション	64
14. 救護サービス	65
14.1 日本の医療制度（医療機関の受診方法を含む）	66
14.2 大会時の救護サービス	68
14.3 救急搬送	69
14.4 公衆衛生	69

15. 保険	71
15.1 保険	72
15.2 対物損害保険	74
15.3 賠償責任保険	74
15.4 自動車保険	74
16. メディア	75
16.1 メディアに対するLOCの役割	76
16.2 メディア用IDカード	76
16.3 メディアセンター	76
16.4 会場向けメディアサービス	76
17. ブランド保護	77
17.1 ブランド保護及び使用	78
17.1.1 大会エンブレム	78
17.1.2 大会エンブレムの使用	78
17.1.3 大会公式マスコット	79
17.1.4 東京2025デフリンピック応援隊	79
18. 付録	83
18.1 会場マスターplan	84
18.1.1 陸上競技	84
18.1.2 バドミントン	85
18.1.3 バスケットボール	86
18.1.4 ビーチバレー	87
18.1.5 ボウリング	88
18.1.6 自転車（ロード）	89
18.1.7 サッカー	90
18.1.8 ゴルフ	91
18.1.9 ハンドボール	92
18.1.10 柔道	93
18.1.11 空手	93
18.1.12 自転車（マウンテンバイク）	94
18.1.13 オリエンテーリング	95
18.1.14 射撃	97
18.1.15 水泳	98
18.1.16 卓球	99
18.1.17 テコンドー	100
18.1.18 テニス	101
18.1.19 バレーボール	102
18.1.20 レスリング（フリースタイル）	103
18.1.21 レスリング（グレコローマン）	103
18.2 デフリンピックスクエアの全体図	104
18.3 競技会場・練習会場一覧	105
18.4 競技日程	106
18.5 競技種目一覧	107
18.6 東京 - 日本の紹介	110
18.7 飲食施設の情報	110
18.8 公共交通機関の全体図	110
18.9 会場ゾーン別の気象情報	111
18.10 協賛企業	112



1

はじめに

1. はじめに

1.1 あいさつ

選手団団長の皆様へ

皆様に東京 2025 デフリンピックの大会サービスガイドをお届けできることを、大変光栄に存じます。

デフリンピックが 1924 年にパリで開催されてから 100 周年を迎える 2025 年に、記念となる大会を、東京で開催できることを嬉しく思います。デフリンピック提唱者のルーベンス＝アルカイス氏は、きこえない人の社会的地位が低く、また手話言語が言語と認められていなかつた時代に、きこえない当事者による運営で、きこえない人の国際スポーツ大会を開催し、社会を変えようとしたのです。

私たちは、デフリンピックの理念を引き継ぎ、東京 2025 デフリンピック開催を機に、社会へきこえないことや手話言語への理解促進を図り、誰もが個性を活かし、共に協働し活躍できる共生社会の実現をめざします。デファスリートや皆様にとって、東京 2025 デフリンピックは素晴らしいものになると確信しています。

この度、大会運営や選手団の皆様へ提供するサービスについての情報を共有し、皆様の大会前及び大会期間中の準備を支援することを目的に、大会サービスガイドを作成いたしました。

2024 年 11 月 17 日から 11 月 21 日に東京で開催される選手団団長セミナーにおいて、本大会サービスガイドの内容をご説明する時間を設ける予定です。選手団団長セミナーに参加される団長の皆様におかれましては、訪日前に内容をご確認いただきますよう、お願い申し上げます。このセミナーにて、皆様から様々ご質問やご意見をいただけますことを心よりお待ちしております。

今後も大会に向けて様々な準備を進めてまいりますので、大会サービスガイド発行後に更新された最新の情報については、引き続き選手団の皆様へ提供してまいります。

皆様の多大なるご支援に感謝するとともに、東京 2025 デフリンピックに向けた残り 1 年間、皆様とともに歩みを進めていきますことを楽しみにしております。

敬具

東京 2025 デフリンピック
デフリンピック運営委員会
委員長 久松 三二

1.2 用語集

用語	英語	日本語
ICSD	International Committee of Sports for the Deaf	国際ろう者スポーツ委員会
LOC	Local Organising Committee (Organisers for TOKYO 2025 DEAFOLYMPICS)	デフリンピック運営委員会 東京都 デフリンピック準備運営本部の3者
NDSF	National Deaf Sports Federation	各国ろう者スポーツ連盟
OMS	Online Management System	オンライン・マネジメント・システム
PTA	Pure Tone Average	平均聴力レベル
AMARYS	Accommodation Management System	公式宿泊予約管理システム
NYC	National Olympics Memorial Youth Center	国立オリンピック記念青少年総合センター
SIC	Sport Information Center	スポーツ・インフォメーション・センター
SID	Sport Information Desk	スポーツ・インフォメーション・デスク
WADC	World Anti-Doping Code	世界アンチ・ドーピング規程
DCS	Doping Control Station	ドーピング検査室
WADA	World Anti-Doping Agency	世界アンチ・ドーピング機構
JADA	Japan Anti-Doping Agency	日本アンチ・ドーピング機構
ISTUE	International Standard Therapeutic Use Exemptions	治療使用特例に関する国際基準
ISTI	International Standard for Testing Investigations	ドーピング調査に関する国際基準
TUE	Therapeutic Use Exemptions	治療使用特例
FOP	Field of Play	フィールド・オブ・プレイ



2

東京2025デフリンピック

2. 東京 2025 デフリンピック

2.1 主要日

2024年4月25日～	ホテル予約開始
2024年9月15日～	スポーツエントリー開始
2024年10月29日 ～2024年10月31日	スポーツディレクター会場視察
2024年11月17日 ～2024年11月21日	選手団団長セミナー開催
2025年10月15日	各選手の名前が記載された最終登録リストの提出期限
2025年11月15日	開会式
2025年11月15日 ～2025年11月26日	大会期間
2025年11月26日	閉会式

2.2 大会運営体制

全日本ろうあ連盟と東京都は協定を締結し、大会準備運営に係る業務を分担する。この分担に基づく業務を遂行するため、大会開催に係る国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）の窓口などを担うデフリンピック運営委員会を全日本ろうあ連盟の内部に設置した。

競技、会場運営などの運営実務は東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部が担う。

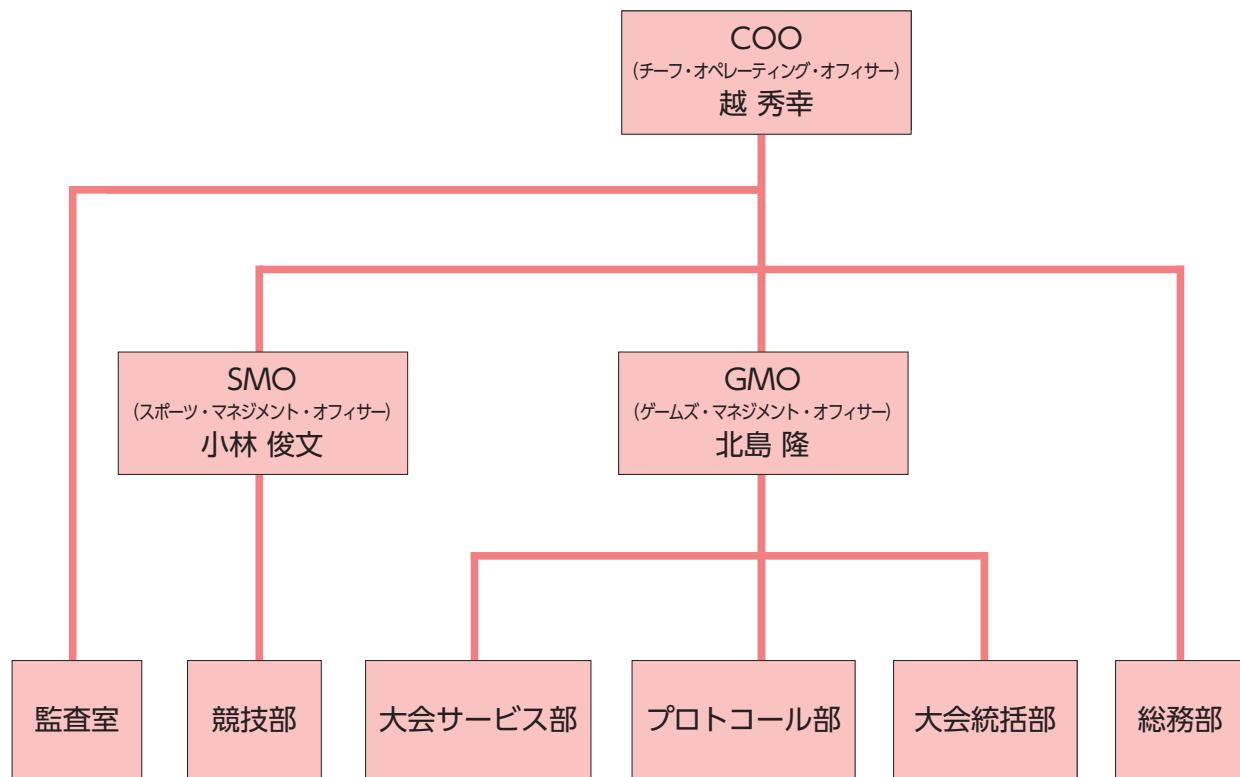
大会の経験やノウハウをレガシーとして継承し、さらなるスポーツ振興に貢献していく。

2.2.1 組織

● デフリンピック運営委員会

役 職	氏 名	現 職
委員長	久松 三二	一般財団法人全日本ろうあ連盟 常任理事
副委員長	薬師寺 道代	医師
委員	石原 保志	国立大学法人 筑波技術大学 学長
委員	延與 桂	公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会 会長
委員	太田 陽介	一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事
委員	畠中 淳子	弁護士
委員	早瀬 久美	デフリンピック選手
委員	古屋 留美	東京都生活文化スポーツ局長

● デフリンピック準備運営本部



2.2.2 ガバナンス

デフリンピックが都民・国民に心から受け入れられるものとするため、以下に掲げる取組を行い、適切なガバナンス体制を確保する。

- 運営組織における役員等の適切な選任
- コンプライアンスの確保のための体制整備と継続的なコンプライアンス教育
- 内部統制・外部チェック体制の構築
- 適切な利益相反の管理
- 積極的な情報公開

2.3 持続可能性

大会を計画、運営するにあたり、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進や省エネルギーの徹底、使い捨てプラスチック・フードロスの削減などに取り組むこととし、既存の施設や物品を最大限活用するとともに、新たに調達が必要な場合でもリースやレンタルを基本とするなど持続可能性に配慮したスポーツ大会の実現を目指す。

2.4 情報保障

LOCは、大会期間中、競技・会場運営に係るコミュニケーションを確保するために、国際手話通訳者（国際手話と日本手話言語の間で通訳する通訳者）を少なくとも1名以上、各競技会場及びデフリンピックスクエアに配置することを検討している。国際手話によるLOCとのコミュニケーションが必要な場合、当該通訳者を介してやりとりすることが可能である。ただし、上述のとおりLOCが配置する当該通訳者は、国際手話と日本手話言語の間しか通訳できない。そのため、国際手話と各国が使用する手話言語の間で通訳する必要がある場合は、各国選手団において、手話言語通訳者を別途用意する必要がある。

2.5 連絡・情報提供方法

各国選手団への連絡や情報提供は、電子メールで行うことを基本とし、LOCから、事前に提出されている代表者アドレスに連絡する。重要な情報等については、メール連絡だけではなく、東京2025デフリンピック大会情報サイトの選手団専用ページにも掲載する。

- 選手団専用ページ (日本語) (English)
- (日本語) <https://deaflympics2025-games.jp/delegations/>
- (English) <https://deaflympics2025-games.jp/en/delegations/>



2.6 政治的行為等の禁止

東京2025デフリンピックでは、いかなる種類の政治的、思想的若しくは宗教的な主義・主張、公共の秩序・道徳に反する行為を認めない。



3

選手団登録

3. 選手団登録

3.1 スポーツエントリーの概要

各国ろう者スポーツ連盟（NDSF）は、代表チーム全員の登録プロセスを完了する責任がある。これには次のカテゴリーが含まれる。

- 選手
- コーチ
- チーム役員（医療関係者、技術担当者、理学療法士、管理者、通訳者含む。）

全ての人々の登録プロセスは、オンライン・マネジメント・システム（OMS）の認定、スポーツ・データ・マネジメント・システムの機能を使用して完了する。

また、認定を受けようとする報道機関は、デフリンピックの3か月以上前に公式申請書をICSDに提出し、承認を得なければならない。

デフリンピックの登録フォームは ICSD によって提供される。

3.1.1 タイムライン（日程・スケジュール）

選手団登録タイムラインは、以下のとおり。

- 2024年 9月 15日：競技種目毎の出場者数を含む事前登録の申請開始
- 2024年 11月 15日：競技種目毎の出場者数を含む事前登録の申請期限
- 2025年 8月 15日：本人のオーディオグラムが ICSD に承認されていない、若しくは以前に ICSD のオーディオロジストによる検査を受けたことがない競技者は、1年以内のオーディオグラムを ICSD へ提出する期限
- 2025年 8月 15日：各選手の名前が記載された最終登録リストの提出開始
- 2025年 10月 15日：各選手の名前が記載された最終登録リストの提出期限

3.1.2 登録関連書類

認定及びスポーツエントリーに関する資料は、ICSD から NDSF に共有される。

関連資料には以下が含まれる。

- 認定要件
- データ要件

なお、関連資料は英語で提供される。

3.1.3 大会参加料の徴収

大会参加料の詳細については、後日、選手団専用ページ等でお知らせする。

3.2 オンライン・マネジメント・システム (OMS)

OMS は、認定、エントリーフォームシステム、オージオグラム管理の機能を含む完全に統合された ICSD のポータルである。

以下は、OMS の統合機能の一部である。

- 正しく認定を受けた選手は、エントリーフォームシステムで確認することができるようになる。
- ランキング管理において公式資格が記録された選手は、エントリーフォームシステムにおいて、該当する競技に自動的に事前登録される。

全ての認定申請書及びエントリーフォームシステムの登録は、OMS を通じて電子的に提出する必要がある。

NDSF は、OMS にアクセスできるスタッフを 1 名以上指名することができ、各メンバーがアクセスできる機能を選択できる。NDSF は、アクセスに指名された人が各機能に関連付けられたタスクを実行する責任を負うことを保証する必要がある。

3.3 スポーツエントリープロセス

スポーツエントリーは、デフリンピックへの参加資格を有する選手及びチームの正式なエントリーを行うプロセスである。スポーツエントリーのプロセスの最終段階は、OMS を通じて実施され、全ての NDSF がオンラインで選手及びチームのエントリーを管理、確認、提出できるようになる。

3.3.1 オンライン・エントリー

NDSF による東京 2025 デフリンピックへのスポーツエントリーの提出は、OMS を通じて行われる。このシステムは英語のみで利用可能である。

NDSF は、2025 年 8 月 15 日から 2025 年 10 月 15 日の 23 時 59 分 (JST 日本標準時間 UTC + 9 時間) までに OMS にアクセスして、出場資格のあるイベントに選手をエントリーできるようになる。OMS の認定機能には、NDSF によって登録された選手のみがエントリーできる。東京 2025 デフリンピックでは、OMS を通じて電子的に提出されたスポーツエントリーのみを受け付ける。

3.3.2 最終提出及び締切り

NDSF が OMS に全てのデータを入力したら、最終提出の前に NDSF の責任において、エンターの見直しや、全データを確認するための十分な時間を確保し、誤りや漏れがないようにすること。

東京 2025 デフリンピックの参加資格審査期間の最終日は 2025 年 10 月 15 日である。

全てのエントリーは、2025 年 10 月 15 日の 23 時 59 分までに完了する必要がある。

3.4 ID カード

3.4.1 概要

● 目的・役割

ID カードは、東京 2025 デフリンピックに参加する各個人を識別し、その役割によって、競技会場内における必要なアクセスを認めるものである。なお、ID カードを携行していない場合は、各競技会場の競技エリア及び関係者エリア等への入場を不可とする。加えて、各競技会場へのバスに乗る際も、ID カードが必要になるため、必ず携行すること。

● 発行対象者

選手団、ICSD 役員、NDSF 関係者、LOC 関係者、VIP、メディア等に発行する。臨時に発行が必要な発行対象者については、デイパスを発行する。

選手団の ID カードについては、OMS よりデータを収集し、当該データを基に発行する。そのため、OMS へ登録する情報については、間違えのないように細心の注意を払うこと。

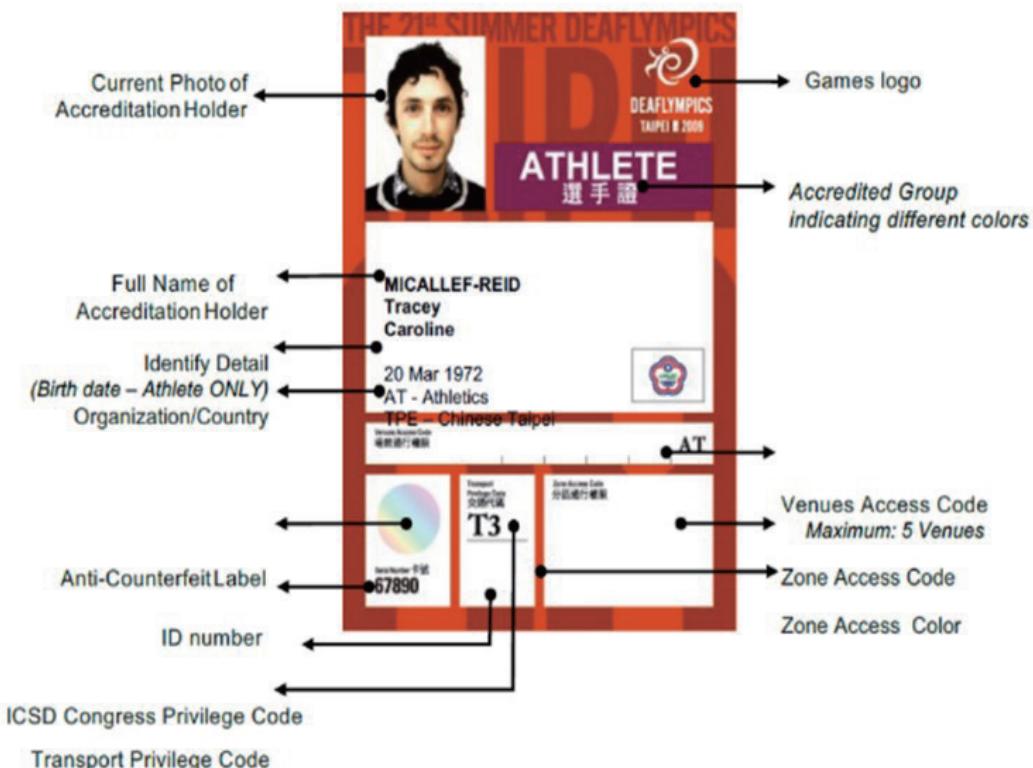
● デザイン案と各記載事項の説明

デザインについては、現在検討中である。記載事項は、過去大会と同等の内容になる予定である。

(過去大会の例)

2009 Taipei (Example):

Accreditation Badge - Front



3.4.2 発行場所

IDセンターをデフリンピックスクエア（東京都）、Jヴィレッジ（福島県）に設置予定である。詳細は以下のとおり。

- 開設時間：9時から21時まで（予定）

※入国ピーク時は選手団の到着に合わせた対応を行う予定である。

- 開設期間：2025年11月11日から2025年11月25日まで

3.4.3 発行条件

IDカードの発行に当たっては、以下3点を必要とする。

- 必要書類（パスポートとエントリーカード）を各国選手団で持参すること。

OMSに登録されているデータに不備がある場合は、再発行が必要になり、IDカードの受け取りまで時間がかかるため、登録情報や写真に誤りがないように事前にしっかり確認すること。

- 登録料・参加料の支払いが済んでいること。

- 選手に関しては、聴力検査を終えていること。

出場選手の中で聴力検査を受ける必要がある者は、聴力検査により大会への参加資格が証明されない限りは ID カードを受け取ることができない。詳細は、「3.5 聴力検査」に記載のとおり。

3.4.4 大会参加時における ID カード

● 関係者エリアへの入場

各競技会場の関係者エリアに入場するためには、ID カードが必要になる。関係者エリア入口にて、ID カードを提示し、スタッフが ID カードで本人確認を実施の上、関係者エリアへの入場を許可する。競技エリアには、当該競技に参加する選手団及び許可されたステークホルダーのみが入場することができる。ID カードは、競技実施時を除き、確認しやすい位置に身に付けておき、常に本人確認ができるようにすること。ID カードを確認できない場合は、会場運営スタッフから声掛けをする場合がある。

● 注意事項

ID カードは、競技会場の競技エリア及び関係者エリアに入場するために必要であり、常時携行すること。個人情報が含まれているため、大切に扱い、紛失しないこと。

破損、紛失した際は、大会運営本部に速やかに連絡し、必ず本人が ID センターにて手続を行うこと。破損した場合は、ID カードを回収した上で再発行を行う。紛失した場合は、パスポート等により本人確認を行った上で再発行を行う。

3.4.5 救急医療情報カード

救急医療情報カードは、救急搬送時や医療機関での医療サービスを受ける時に有用なものとなる。ID カード発行時に救急医療情報カードを配布するため、自身で必要項目を記載の上、自身の ID カードホルダーに収納し、常時携行することを推奨する。また、選手団専用ページにも掲載するので、事前に記載し大会時に活用することもできる。

なお、きこえない人、きこえにくい人は緊急時の情報のやり取りが困難となることが予想されるため、本カードの活用を強く推奨する。きこえる人も、意識がない時などに本カードを有効活用できるため、記載の上、携行することを推奨する。

3.5 聴力検査

東京 2025 デフリンピックでは、ICSD の「オージオグラムに関する規則」に基づき、聴力検査を実施する。

検査対象者は聴力検査を受け、参加資格があることが確認されないと ID カードを受け取ることができない。

なお、大会期間中も聴力検査を行う場合がある。

- 検査対象者

ICSD が検査対象者を決定し、各国選手団に通知する。

- 検査場所

ID センターの近接地に配置する。

- 検査実施日

ID センターの開設期間に準ずる。

- 検査内容

良耳の平均聴力レベル (PTA) が 55dB 以上である (500, 1000, 2000 ヘルツの三つの純音平均聴力レベル、気導、ISO1969 基準) ことを確認する。



4

通関及び貨物輸送

4. 通関及び貨物輸送

4.1 通関手順

4.1.1 携帯品又は別送品に対する免税

携帯品又は別送品のうち、個人的に使用すると認められるものに限り、定められた範囲内で免税となる。詳細については、以下を確認すること。

(日本語) • [海外旅行者の免税範囲：税関 Japan Customs](#)

(English) • [Procedures of Passenger Clearance : Japan Customs](#)

4.1.2 保険

各国で持ち込む携帯品、別送品については各国の責任で保険に入ること。

4.2 到着時の税関手続

日本に入国する者は全員、申告する物品を明記し税関職員に「携帯品・別送品申告書」を提出しなければならない。「携帯品・別送品申告書」は機内及び空港の税関を通過する前に入手することができる。

詳細については、以下を確認すること。

(日本語) • [入国情報の税関手続 : 税関 Japan Customs](#)

• [Visit Japan Web | デジタル庁](#)

• [通関案内ー海外旅行者の皆様へー](#)

(English) • [Procedures of Passenger Clearance : Japan Customs](#)

• [Visit Japan Web | Digital Agency](#)

• [CUSTOMS GUIDE for VISITORS](#)

4.2.1 別送品手続

各国が品物を日本に送る際は、品物の外装や税関告知書(郵便物)又は送り状等に必ず「別送品」と明確に表示し、入国者本人を受取人とすること。入国情報には「携帯品・別送品申告書」を2通、税関に提出すること。

詳細については、以下を確認すること。

(日本語) • [別送品手続 \(渡航先から荷物を送る\) : 税関 Japan Customs](#)

(English) • [7102 Procedures for Declaring Unaccompanied Articles to Customs \(FAQ\) : Japan Customs](#)

4.2.2 支払手段等の携帯輸出入の手続

日本円で 100 万円相当額を超える現金等を携帯して出国又は入国する場合には、出国（入国）時に「支払い手段等の携帯輸出・輸入申告書」の税関への提出が必要となる。

詳細については、以下を確認すること。

(日本語) ・ [支払手段等の携帯輸出入の手続：税関 Japan Customs](#)

(English) ・ [7305 Export/Import of Means of Payment, etc. \(FAQ\) : Japan Customs](#)

4.3 銃器・弾薬

東京 2025 デフリンピックは、銃器・弾薬に関する様々な面で日本の非常に厳しい規則や規制に支えられ、日本国内の安全な環境で開催される。射撃競技に参加する選手は、日本の法律を遵守し、公正な執行のために必要な手続をとらなければならない。

また、法令を遵守した円滑な大会運営のため、選手へのサービスやサポートを提供する。

銃器及び弾薬に関する法的規制の例は次のとおり。

- 許可を受けた選手のみが銃器及び弾薬を所持、保管、運搬又は輸送することができる。
- 許可された銃器及び弾薬を他の個人と共有することはできない。
- 以下の場合は許可が必要
 - ・銃器や弾薬の輸出入
 - ・弾薬の取得、譲渡又は処分
 - ・1 日当たり 400 発以上の弾薬を消費（射撃）
- 選手は 800 発を超える弾薬を保管することはできない。
- 銃器と弾薬は、武器庫に保管されている場合を除き、許可を受けた選手の手の届くところに置かなければならない。
- 許可証は、銃器を持ち運ぶとき又は輸送中に常に携帯しなければならない。

銃器・弾薬の輸出入・輸送について LOC の支援を受けるためには、NDSF は、LOC が確認する期日までに、選手の出入国、銃器・弾薬に関する必要な情報を LOC に提出しなければならない。その後、LOC が選手に代わって各政府当局に輸出入及び輸送の許可を申請する。

銃器や弾薬は競技に使用し、選手自身が携帯しなければならない。

選手は、成田国際空港又は東京国際空港のいずれかから発着しなければならない。

その他詳細は、別途「東京 2025 デフリンピック銃砲・実包ガイド」で通知する。

上述の基準を満たさない選手は、日本の法律に従って自ら銃器や弾薬を輸出入、輸送、保管しなければならない。その場合、選手は関係政府当局から必要な許可を全て取得し、合意された日時に射撃競技会場の武器庫への銃器と弾薬の輸送や保管等に関する全ての責任を負う。

宿泊施設への銃器や弾薬の持ち込みは固く禁止されている。

LOC に事前申込みされた大会参加選手を対象に、LOC が指定する代理店が射撃競技会場で競技用・練習用弾薬を販売する。

銃器・弾薬については非常に厳しい規制があることから、宿泊場所及び出入国日を指定する予定である。

4.4 医薬品及び医療機器

医薬品及び医療機器を日本に持ち込む場合の注意点等は、以下のとおり。

● 個人が医薬品及び医療機器を持ち込む場合

個人が自分で使用することを目的（販売目的ではない。）に一般的な医薬品及び医療機器を持ち込む場合、日本の法律で指定された数量内であれば事前の手続は不要である。

ただし、指定された数量を超える場合等は、各自で事前に輸入確認証を申請する必要がある。

なお、日本の法令で禁止されている覚せい剤、大麻、その他規制物質を日本に持ち込むことはできない。詳細については、以下を確認すること。

(日本語) ・[個人で使用する医薬品を日本に持ち込む方へ | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

(English) ・[Information for those who are bringing medicines for personal use into Japan | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

● 各国選手団がチームとして医薬品及び医療機器を持ち込む場合

各国選手団のチーム医師が、チーム用の医薬品及び医療機器をチームのために使用する目的でまとめて持ち込む場合、各種手続が必要となる（詳細については、以下サイト「医薬品等の輸入手続について」を参照すること）。その際は、サイト内の手続方法（日本語での案内のみ）をよく確認した上、必要書類（日本語若しくは英語での申請のみ対応可）を以下のアドレスにメール送付し、手続を行うこと。本手続を行わずに医薬品及び医療機器を持ち込んだ場合、日本国（日本）の法律により処罰の対象となる。なお、必要書類の送付期限は2025年6月15日とし、期限を過ぎた場合は一切対応できないため、注意すること。

(日本語) ・[医薬品等の輸入手続きについて | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

(問合せ先) medical@deaf2025.jp



5

入国

5. 入国

5.1 公式空港

東京 2025 デフリンピックにおける公式空港は以下とする。こちら以外の空港利用について LOC は輸送サービスを提供しない。

- 東京国際空港（羽田空港） 第2ターミナル（国際線）、第3ターミナル
- 成田国際空港（成田空港） 第1ターミナル、第2ターミナル

※上記以外の空港又は日本国内での事前キャンプ地や飛行機の乗り継ぎによって国内線を利用し、記載外のターミナルを使用する場合、自身で記載の空港ターミナルまで移動することで輸送サービスを利用できる。

5.2 入国情の指定等

- 射撃競技は、日本の非常に厳しい規則や規制などで、入国情時及び輸送時において特殊な手続きが必要となるため、入国情日及び利用空港を指定する予定である。
- 自転車競技は、自転車の輸送が必要になるため、指定した入国情日に限り輸送を提供する。
- サッカーは、チーム全員で入国した場合に限り、公式空港から直接 Jヴィレッジまでの輸送を各チーム1回提供する。

5.3 短期査証発行手続

査証に関する問合せについては「外務省ビザ・インフォメーション」又は各公館サイトで案内している「訪日外国人査証ホットラインサービス」へ照会すること。

短期滞在（観光、商用、知人・親族訪問等 90 日以内の滞在。収入を伴う事業を運営する活動又は報酬を得る活動を行うことは認められない。）における査証申請に必要な書類は、査証申請人の国籍・地域別に確認すること。あわせて、査証を申請する在外公館のサイトの情報を確認すること。

詳細については、以下を確認すること。

(日本語) ・ [ビザ | 外務省](#)

(English) ・ [VISA | Ministry of Foreign Affairs of Japan](#)

5.3.1 短期査証発給サポート

短期査証発行が必要な選手団は指定日までに参加する選手団の情報を LOC へ送付すること。短期査証発行に当たっては、LOC にて必要書類（招へい理由書、滞在予定表、身元保証書、その他の必要書類）を準備・作成して必要な参加者へ送付する。各国選手団については、これら

の書類を選手団で用意する書類（旅券、査証申請書、写真、その他必要書類）とともに居住地最寄りの日本大使館や総領事館等で短期査証申請を行うこと。LOCでの日本大使館や総領事館等への査証の代理申請はできない。また、査証発行の可否は日本大使館や総領事館等の判断による。

詳細については、以下を確認すること。

(日本語) ・[短期滞在査証（ビザ）手続きチャート | 外務省 \(mofa.go.jp\)](#)

(English) ・[Procedures Chart for Short-Term Stay | Ministry of Foreign Affairs of Japan \(mofa.go.jp\)](#)

5.4 入国プロセス

入国時の各手続の流れは以下のとおり。



5.4.1 検疫

● 動植物及び食品

動植物及び食品の持ち込みについては、以下を確認すること。

(日本語) ・[植物を海外から日本へ持ち込む場合の規制：植物防疫所](#)
・[日本に渡航される方へ：植物防疫所](#)
・[動物検疫所ホームページ](#)

(English) ・[Regulations when Bringing Plants into Japan from Another Country : Plant Protection Station](#)
・[Bringing plants into Japan : Plant Protection Station](#)

● 補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）

日本に輸入される犬、猫は法律に基づき、検疫を受けさせる責務があり、輸入者の責任と費用負担により、各種手続を行う必要がある。補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）についても同じ輸入条件が適用されるため、事前の準備を行う必要がある。

詳細については、以下を確認すること。

(日本語) ・[検疫 | 水際対策 | 厚生労働省 | 日本政府](#)
・[植物防疫所ホームページ](#)
・[動物検疫所ホームページ](#)

- ・[身体障害者補助犬 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

- (English) • [Border Measures | Ministry of Health, Labour and Welfare | Government of Japan](#)
- ・[Other Languages : Plant Protection Station](#)
 - ・[Animal quarantine information for travellers to Japan](#)

5.4.2 入国審査

入国審査の際には、外国人入国記録を提出すること。

詳細については、以下を確認すること。

- (日本語) • [外国人入国記録（翻訳併記版）|出入国在留管理庁](#)
- ・[Visit Japan Web | デジタル庁](#)

- (English) • [外国人入国記録（翻訳併記版）|出入国在留管理庁](#)
- ・[Visit Japan Web | Digital Agency](#)

5.4.3 手荷物受取

入国審査を通過した後、荷物を手荷物引渡場にて受け取ること。なお、棒高跳びのポール、自転車等、手荷物引渡場で返却できない荷物がある場合は、空港内の専用窓口での受取となる。空港内でのスムーズな案内を実施するため、事前に公式宿泊予約管理システム（AMARYS）を通じて連絡すること。

詳細については、以下を確認すること。

- (日本語) • [到着手続き | 国際線ご利用 | フライト | 羽田空港旅客ターミナル【羽田空港】](#)
- ・[到着のご案内：国際線 | 成田国際空港【成田空港】](#)

- (English) • [Arrival Procedures | Use International | Flights | Haneda Airport Passenger Terminal【HANEDA airport】](#)
- ・[Arrival procedure: International flights | NARITA INTERNATIONAL AIRPORT【NARITA airport】](#)



6

出国

6. 出国

6.1 公式空港

東京 2025 デフリンピックにおける公式空港は以下とする。こちら以外の空港利用について LOC は輸送サービスを提供しない。

- 東京国際空港（羽田空港） 第2ターミナル（国際線）、第3ターミナル
- 成田国際空港（成田空港） 第1ターミナル、第2ターミナル

6.2 出国日の指定

射撃競技は、日本の非常に厳しい規則や規制などで、出国時及び輸送時において特殊な手続が必要となるため、出国日及び利用空港を指定する予定である。

自転車競技は、自転車の輸送が必要になるため、指定した出国日に限り輸送を提供する。

6.3 出国手続

6.3.1 通常出国手続

日本から出国する選手団は、入国審査官から出国の確認を受けなければならない。

詳細については、以下を確認すること

- (日本語) · [出国手続<外国人の出国手続（入管法第 25 条）> | 出入国在留管理庁](#)
 · [出発手続き | 国際線ご利用 | フライト | 羽田空港旅客ターミナル【羽田空港】](#)
 · [出発のご案内：国際線 | 成田国際空港【成田空港】](#)
- (English) · [出国手続<外国人の出国手続（入管法第 25 条）> | 出入国在留管理庁](#)
 · [Departure Procedures | Use International | Flights | Haneda Airport Passenger Terminal【HANEDA airport】](#)
 · [Departure procedure: International flights | NARITA INTERNATIONAL AIRPORT【NARITA airport】](#)



7

宿泊

7. 宿泊

東京 2025 デフリンピックの宿泊に関しては、以下に記載のとおりサービスを提供する。

具体的な手続や詳細な内容については、「Tokyo 2025 Deaflympics Accommodation Guide」を確認すること。

(日本語) ・[宿泊ガイド | 東京2025デフリンピック 大会情報サイト \(deaflympics2025-games.jp\)](#)

(English) ・[Accommodation Guide | TOKYO 2025 DEAFLYMPICS - Games Information - \(deaflympics2025-games.jp\)](#)

7.1 宿泊施設の予約

7.1.1 早期予約の必要性

現在、日本国内の旅行需要及び訪日旅行人気の高まりから、東京都内を中心に宿泊施設からの客室在庫の確保が大変困難となっている。

東京都内の宿泊施設の稼働率は約 90%（2024 年 3 月時点）となっており、ほぼ満室の状況が続いている。

また、本大会が開催される 11 月中旬から下旬においては、日本国内の観光シーズンにも当たっており、客室在庫の確保は一層困難となっているばかりか、宿泊料金も 2023 年に対して 2024 年は 25% 上昇しており、2025 年は更なる上昇が見込まれる。

大会開催に当たり、選手・関係者に十分な客室を合理的な金額で提供するためには、宿泊施設からの協力が必要不可欠であり、早期（2025 年 1 月末まで）に利用客室数を共有することが必要となることから、NDSF には早期予約を心からお願いしたい。

7.1.2 早期予約のメリット

早期予約した NDSF は、主に以下のメリットを受けられる可能性がある。

- NDSF の希望を基に、利便性の高い宿泊先への配宿
- 案内している宿泊カテゴリーに準じた料金での予約
- 宿泊施設との調整期間の確保（増室等の交渉）

7.1.3 早期予約しなかった場合のデメリット

予約が遅れた NDSF は、主に以下のデメリットを被るおそれがある。

- 限られた宿泊先への配宿（NDSF の希望に応えらず、宿泊先が遠方になるなど）
- 宿泊料金の高騰
- 宿泊に関する調整期間の不足

7.1.4 予約の手續

大会期間中の宿泊施設の予約・キャンセル等の変更、各種問合せについては、AMARYS を通じて公式旅行代理店（以下「(株)JTB」という。）に申込みを行うこと。詳細については、「Tokyo 2025 Deaflympics Accommodation Guide」を確認すること。

7.1.5 予約のスケジュール

宿泊予約の申込期間によって、その後のスケジュールが異なる。そのため、申込期間に応じた対応を行うこと。申込期間に応じたスケジュールは、下表を確認すること。

- ・2024年9月30日までに宿泊予約申込みをしたNDSFのスケジュール

		第一次申込受付選手団 (9月末までに申込フォームを提出した団体)		
期 日		対応事項		
年	月 日	N D S F	LOC / (株) JTB	
2024	8月以前	—	宿泊予約管理システム(AMARYS)稼働開始	
		AMARYSへログインし、代表者情報登	ICSDよりAMARYSのログインIDと初期パスワードを各国選手団へ付与	
		—	(株)JTBよりAMARYSにて宿泊申込フォームを送付	
	9月	AMARYSにて宿泊申込フォームを提出	—	
			—	
			—	
	10月	1～10	提出団体に対してAMARYSにて第一次配宿結果を各国選手団に順次通知 【第一次配宿通知】	
		11～20		
		21～31		
	11月	1～10	—	
		11～20	11/17～11/21 東京 2025 デフリンピック選手団団長セミナー	
		21～30	—	
	12月	1～10	—	
		11～20	—	
		21～31	—	
2025	1月	AMARYSにて宿泊予約の変更希望を提出 (締め切り: 2/28)	—	
			—	
			—	
	2月		—	
			—	
			—	
	3月	1～10	AMARYSにて最終的な配宿を各国選手団に順次通知【配宿確定通知】 各国選手団に対し、宿泊料金の第1回請求書を順次発行	
		11～20		
		21～31		
	4月	宿泊料金1回目の支払期限(入金期限: 3/31)	—	
		1～10	4/1から客室のキャンセル室数によって、キャンセル料が発生	
		11～20	4/1時点のホテルごとの予約総客室数に対して 20%相当の客室数を取消可能 (締め切り: 4/30)	
		21～30		
	5月	1～10	5/1時点のホテルごとの予約総客室数に対して 10%相当の客室数を取消可能 (締め切り: 6/13)	
		11～20		
		21～31		
	6月	1～10	6/16からキャンセル料100%発生	
		11～20		
		21～30		
	7月	各国選手団の宿泊料金の最終の支払期日(入金期限: 6/30)	各国選手団に対し、宿泊料金の最終請求書を順次発行	
		1～10	希望に応じて配宿変更対応 (増室時請求書の発行)	
		11～20		
	8月	21～31		
		1～10	希望に応じて配宿変更対応 (増室時請求書の発行)	
		11～20		
		21～31		
	9月	1～10	ルーミングリストの提出 (提出方法・期限は後日案内)	
		11～20		
		21～30		
	10月	1～10		
		11～20		
		21～31		
	11月	1～10	—	
		11～20	東京 2025 デフリンピック大会本番	
		21～30	—	

- ・2024年11月1日から2025年1月31日までに宿泊予約申込みをしたNDSFのスケジュール

		第二次申込受付選手団 (11月以降1月末までに申込フォームを提出する団体)	
期 日		対応事項	
年	月 日	N D S F	LOC / (株) JTB
2024	8月以前	—	宿泊予約管理システム(AMARYS)稼働開始
		AMARYSへログインし、代表者情報登	ICSDよりAMARYSのログインIDと初期パスワードを各国選手団へ付与
		—	(株) JTBよりAMARYSにて宿泊申込フォームを送付
	9月	1~10	—
		11~20	—
		21~30	—
	10月	1~10	—
		11~20	—
		21~31	—
	11月	1~10	AMARYSにて宿泊申込フォームの再受付開始を通知(11/1)
		11~20	11/17 ~ 11/21 東京 2025 デフリンピック選手団団長セミナー
		21~30	—
	12月	1~10	—
		11~20	—
		21~31	—
2025	1月	AMARYSにて宿泊申込フォームを提出 (締め切り: 1/31)	
		1~10	—
		11~20	—
		21~31	—
	2月	1~10	—
		11~20	—
		21~28	AMARYSにて最終的な配宿を各国選手団に順次通知 【配宿確定通知】
	3月	1~10	配宿された選手団は個々に(株)JTBと旅行契約を締結 (締結期限: 2/28)
		11~20	—
		21~31	各国選手団に対し、宿泊料金の第1回請求書を順次発行
	4月	1~10	4/1から客室のキャンセル室数によって、キャンセル料が発生
		11~20	4/1時点のホテルごとの予約総客室数に対して 20%相当の客室数を取消可能 (締め切り: 4/30)
		21~30	希望に応じて配宿変更対応 (増室時請求書の発行)
	5月	1~10	
		11~20	
		21~31	
	6月	1~10	5/1時点のホテルごとの予約総客室数に対して 10%相当の客室数を取消可能 (締め切り: 6/13)
		11~20	6/16からキャンセル料100%発生
		21~30	各国選手団に対し、宿泊料金の最終請求書を順次発行
	7月	1~10	希望に応じて配宿変更対応 (増室時請求書の発行)
		11~20	
		21~31	
	8月	1~10	希望に応じて配宿変更対応 (増室時請求書の発行)
		11~20	
		21~31	
	9月	1~10	ルーミングリストの提出 (提出方法・期限は後日案内)
		11~20	
		21~30	
	10月	1~10	
		11~20	
		21~31	
	11月	1~10	ルーミングリストの確認
		11~20	東京 2025 デフリンピック大会本番
		21~30	—

7.1.6 予約のキャンセル

予約のキャンセルについては、以下の規定に基づきキャンセル料を支払う必要がある。

キャンセル日	キャンセル条件	キャンセル料
2025年3月31日 (JST23:59)以前	—	なし
2025年4月1日 (JST00:00)から 2025年4月30日 (JST23:59)	宿泊施設ごとのキャンセル客室数が、当該宿泊施設について2025年4月1日(JST0:00)時点で予約している総客室数に対して右記の場合	20%以下について なし
		20%を超える分について キャンセルした客室の宿泊料金の100%
2025年5月1日 (JST0:00)から 2025年6月13日 (JST23:59)	宿泊施設ごとのキャンセル客室数が、当該宿泊施設について2025年5月1日(JST0:00)時点で予約している総客室数に対して右記の場合	10%以下について なし
		10%を超える分について キャンセルした客室の宿泊料金の100%
2025年6月14日 (JST0:00)以降	—	キャンセルした客室の宿泊料金の100%

また、キャンセル料が発生する2025年4月以降のキャンセルについては、「キャンセルリブック※」となるため、要注意

※キャンセルリブック…増室と減室が発生した場合、増室数による減室数の相殺はしない(同一ホテルにおいても同様)。

7.2 宿泊料の支払い

- 通貨：日本円
- 方法：指定の銀行口座への送金若しくはクレジットカードでの清算
- 時期：2回に分割（下表のとおり）

※支払期限までの入金が確認できない場合、すでに入金されている額に相当する客室数を除き、宿泊予約を取り消す。

回数	支払金額	支払期日
1回目	第一次配宿通知時若しくは配宿確定通知時の予約内容における宿泊総額の90% ※なお、総額の支払いも可能である。	2025年3月31日
2回目 ※最終	配宿確定通知時の予約内容における宿泊総額の残額から 1回目入金額を差し引いた額	2025年6月30日

※2回目の請求書発行後、客室の増室があった場合については、宿泊施設からの提供条件に応じて支払期限を設定し、支払いをする必要がある。

※銀行送金の場合に発生する手数料等は、支払者負担となる。

※各支払期日は、(株)JTBへの着金期限を指す。

※返金が生じた場合は、最終請求時に一括で返金する。

7.3 旅行契約の締結

NDSFは客室等の提供を受けるために、日本の旅行業法に則り、(株)JTBとの旅行契約の締結が必須となる。

期日までに旅行契約を締結できない場合、宿泊等の提供ができないため、宿泊予約の取消しを行う。

7.4 宿泊施設の概要

1泊1名当たりの宿泊料金に応じて、4つのカテゴリーを設定している。

以下はカテゴリーごとの施設及びサービス等の一例を示したものであるが、列挙した項目の全てが提供されることを保証するものではない。

なお、宿泊料金におけるカテゴリー分類は、ツインを2名利用した場合の1名当たりの宿泊料金となる。ツインの提供がない施設の場合は、シングルを利用した場合の1名当たりの宿泊料金となる。

宿泊料金には、朝食、通信サービス（Wi-Fi）、アメニティ、客室備品等の利用は含まれるが、ランドリーサービス等に係る費用は含まれない。

※ USD での料金は 2024 年 8 月 1 日時点の為替レートに基づいた参考値であり、宿泊料金の支払いは日本円払いとなる。

A カテゴリー：30,000 円（200USD 程度）～ /1 泊 1 名あたり

Wi-Fi、駐車場、ビジネスサポートツール、ファンクションルーム、ランドリーサービス又はコインランドリー、セーフティーボックス（客室又はフロント）、十分なアメニティ及び客室備品、朝食、付帯施設（娯楽、リラクゼーション、売店）、自動販売機など

B カテゴリー：20,000 円（133USD 程度）～ /1 泊 1 名あたり

Wi-Fi、駐車場、ランドリーサービス又はコインランドリー、標準的なアメニティ及び客室備品、朝食、自動販売機など

C カテゴリー：10,001 円（100USD 程度）～ /1 泊 1 名あたり

Wi-Fi、ランドリーサービス又はコインランドリー、最小限のアメニティ及び客室備品、朝食、自動販売機など

D カテゴリー：～ 10,000 円（67USD 程度）/1 泊 1 名あたり

Wi-Fi、コインランドリー、最小限のアメニティ及び客室備品、朝食、自動販売機など

◆ D カテゴリーの宿泊施設（国立オリンピック記念青少年総合センター）

東京都内における D カテゴリーの宿泊施設は「国立オリンピック記念青少年総合センター」（NYC）のみとなる。本施設は低廉の価格となるが、青少年の研修や国際交流等の活用の場となる青少年教育施設であるため、通常の宿泊施設と客室の設えや提供されるサービスレベルが異なり、施設内での規則等がある。

NYC の客室は 2 タイプあり、価格と清掃等のサービス内容が異なる。各タイプの詳細な説明については、「Tokyo 2025 Deaflympics Accommodation Guide」を確認すること。

- ・ 客室の広さ : 9 m²～13 m²
- ・ 客室タイプ : シングルのみ
- ・ バス・トイレ : 共用（バスの利用については時間制）
- ・ アメニティ : なし
- ・ リネン交換 : なし ※自らリネンを交換することは可能
- ・ 室内での飲食、飲酒不可（ただし、水などの水分補給は可能）
- ・ 室内清掃なし
- ・ 早朝深夜の外出制限
- ・ オートロックの設備がないため、宿泊者にて客室の鍵の施錠と保管を徹底すること

7.5 宿泊先のサービス

7.5.1 各宿泊施設での対応

チェックイン・チェックアウトの手続、アメニティの提供、客室清掃、シーツ交換等については、利用する宿泊施設の定めによる。喫煙及び飲酒に関しては、日本国の法律では20歳未満は禁じられている。宿泊施設での喫煙及び飲酒に関しては、利用する宿泊施設の定めによる。

大会時の増室や延泊等の各種相談については、大会運営本部に問い合わせること。

7.5.2 飲食

1泊朝食付きの設定が基本となっているが、朝食場所及び朝食時間については、利用する宿泊施設の定めによる。昼食、夕食に関しては、宿泊料金には含まれないため、希望する選手団はAMARYS上で問い合わせること。要望に応じて、昼・夕食の追加手配（別料金）又は情報提供を行う。

7.5.3 ランドリー

ランドリーに係る料金は、宿泊料金に含まれていない。必要に応じて宿泊施設提供のランドリーサービス（コインランドリー等）を利用できる。宿泊施設内にランドリーサービスがない場合は、外部ランドリーサービス提供会社の紹介や、別料金でのあっせんを行う。また、団体競技等において一度に大量のランドリーが発生する場合、外部ランドリーサービス提供会社の紹介や別料金でのあっせんを行う。なお、外部ランドリーサービス提供会社では、シルクなど熱に弱いもの、道着や水着など洗濯したら縮む可能性があるものなどは対応できない。

7.5.4 宿泊時の急病人等への対応

宿泊時の体調不良については、各宿泊施設のフロントに問い合わせること。その後、宿泊本部に連絡を入れること。

7.6 上記以外の宿泊

各国の選手団に属さないゲスト等に関する宿泊施設の確保や各種サービスについては、各国の責任にて自己で負担し、手配する必要がある。

なお、この件について、（株）JTBに相談することは可能である。



8

デフリンピックスクエア

8. デフリンピックスクエア

大会本部機能及び文化発信機能を有する、デフリンピックスクエアを設置する。

大会本部機能は、大会運営本部、輸送のハブ、メディアセンター、練習会場等の機能を持つ大会運営拠点として、デファスリートが最高のパフォーマンスを発揮できるよう大会を運営する機能である。

文化発信機能は、デフスポーツやろう者の文化への理解を深めるコンテンツをはじめ、ユニバーサルコミュニケーション技術や東京の芸術文化に触れる機会など、多様な人々が一緒に楽しめる多彩なプログラムのショーケーシングを行う機能である。

8.1 設置期間・場所

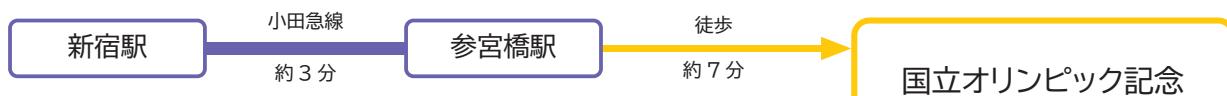
- 期間：2025年11月15日から2025年11月26日まで

ただし、IDカード発行など一部の機能については、11月15日よりも前にオープン予定である。

- 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（NYC）
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

電車をご利用の方

- ・新宿駅から



- ・大手町駅から



バスをご利用の方

- ・渋谷駅から



- ・新宿駅から



8.2 ゾーンとアクセスコントロールポイント

NYC 内にある国際交流棟、センター棟、カルチャー棟、スポーツ棟、宿泊棟（宿泊する選手団のみ）を使用する。

なお、施設は全館貸切りではなく、一般の人も利用するため、注意すること。

8.2.1 施設案内

現時点の各施設の利用想定は、以下のとおりである。

- 国際交流棟

会議場、宿泊する選手団の食事会場、選手の交流ラウンジ、ID カード発行・交付など。

- センター棟

大会運営本部、輸送本部、ミーティングルームなど。また、記者会見場があり、メディアセンターを有する。

- カルチャー棟

メディアカルルーム、聴力検査室など。また、観光案内やユニバーサルコミュニケーション機器の展示・体験、ステージプログラムなど文化発信機能の中心拠点となる。

- スポーツ棟

バスケットボール、バレーボールの練習会場、個人で利用可能なウォームアップエリアなど。また、一般来場者向けにデフスポーツ等の競技体験コンテンツを提供する。

- 宿泊棟

希望する選手団が宿泊可能である。詳細は、「7. 宿泊」に記載のとおり。

● NYC 公式サイト（参考）

[国立オリンピック記念青少年総合センター \(niye.go.jp\)](http://niye.go.jp)

言語の切り替えについては、Web ブラウザ内の翻訳機能をご活用ください。



8.2.2 NYC 内マップ

「18.2 デフリンピックスクエアの全体図」に記載のとおり。

8.3 デフリンピックスクエアでのルール

客室、レストランを含め、屋内は全て禁煙である。なお、屋外に専用の喫煙スペースがある。

宿泊部屋内での飲食は禁止である。ただし、水などの水分補給は可能である。

ID カードは、デフリンピックスクエア内含む全ての会場で携行すること。

8.4 運営諸室

8.4.1 問合せ窓口

センター棟の大会運営本部には問合せ窓口を設け、各国選手団の問合せに対応する。

8.4.2 NDSF 用会議室

センター棟に NDSF が打合せ等で使用できる会議室を用意する。具体的な使用方法については、後日選手団専用ページ等でお知らせする。

8.4.3 救護所

カルチャー棟に救護所を設置する。詳細については、「14.2 大会時の救護サービス」に記載のとおり。

8.4.4 選手交流ラウンジ

国際交流棟に、選手同士が交流できるよう、交流ラウンジを設置する。

8.4.5 ウォームアップエリア

スポーツ棟にウォームアップを行うことができるエリアを設置する。期間は 2025 年 11 月 12 日から 2025 年 11 月 25 日まで。詳細は問合せ窓口まで問い合わせること。

8.4.6 手荷物サービス

詳細については後日、選手団専用ページ等でお知らせする。

8.5 技術会議

デフリンピック規約 DG22. 技術会議に基づき、ICSD 執行役員、技術委員、組織委員会の役員といった主な人員の役割と責任を明確にするため、デフリンピックの前夜にこれら全ての役員による会議を行う。各競技の開催日（通常、競技初日の前日までに開催）及び開催場所は後日、各競技の技術要件に記載する。

8.6 スポーツ・インフォメーション・センター（SIC）

デフリンピックスクエア内にある SIC は、2025 年 11 月 11 日にプレオープンし、2025 年 11 月 14 日から 2025 年 11 月 26 日まで正式にオープンする。

SIC は次のスポーツ固有の情報を提供する。

- LOC 及び ICSD からの一般的な競技関連情報及びスポーツ関連の情報
- 競技結果、スタートリスト、毎日のトレーニングスケジュール、その他の重要な情報
- 競技会場及び独立練習会場行きのバスの情報

これらと同じサービスや情報は、競技会場のスポーツ・インフォメーション・デスク (SID) でも提供される。SID の詳細については、「9.8 スポーツ・インフォメーション・デスク (SID)」に記載のとおり。

8.7 メディアセンター

詳細については「16.3 メディアセンター」に記載のとおり。

8.8 飲食サービス

デフリンピックスクエアでは、施設内のカフェ等において、有償又は無償で飲食の提供を行う。詳細については後日、選手団専用ページ等でお知らせする。

8.9 セキュリティ

NYC の警備員が正門に配置されているほか、大会期間中は警備員が巡回するが、一般人の出入りを制限するものではない。所持品は自己の責任の下で管理すること。また、身の回りの安全は各自で確保すること。

8.10 緊急時の対応

デフリンピックスクエアでは、大会運営本部にて人命安全に関する緊急的な情報を集約・管理する。緊急時は、人命救助の考え方に基づき行動するよう呼びかけや誘導を行う。

8.11 遺失物

大会期間中におけるデフリンピックスクエア内の遺失物及び拾得物については、センター棟の大会運営本部において保管する。遺失物を引き取るには、本人確認用の ID カード又はパスポートが必要になる。

なお、大会終了後は NYC での保管となるが、速やかに NYC から最寄りの警察署へ遺失物として届けられる。

8.12 デフリンピックスクエアの Wi-Fi 環境

無料で使用できる Wi-Fi を、各施設内の大部分で使用可能である。



9

競技

9. 競技

9.1 競技会場

東京 2025 デフリンピックのプログラムは 21 の競技で構成され、19 の競技会場（練習会場は除く。）で開催される。これらの会場は、東京都内（島しょ部含む。）と福島県及び静岡県に分かれている。

競技会場の完全なリストは付録に記載のとおり。

9.2 競技スケジュール

東京 2025 デフリンピックの最終的な競技スケジュールは 2025 年 5 月頃を目途に LOC と ICSD が協力して決定する。現時点における競技スケジュールは付録で確認できる。なお、競技スケジュールは今後の選手の参加状況等により変更される可能性がある。

9.3 競技用具

東京 2025 デフリンピックで使用する競技用具は、原則として国際競技連盟の規定に準拠したものを LOC が提供する。選手及び NDSF が持参する全ての用具は、デフリンピック規約 DG15. 広告に準拠する必要がある。

9.4 練習会場

ほとんどの競技では、練習会場は各競技の競技開始の数日前から各競技の競技最終日までオープンする。

9.4.1 大会期間中の練習会場

大会期間中の練習会場には 2 つのカテゴリーがある。

● 競技会場内の練習会場

特定の競技では、競技フィールド（競技開始前）、ウォーミングアップエリア及び競技会場の別のエリアで、一部又は全ての練習を実施することができる。

● 独立した練習会場

これらは大会期間中の練習会場であり、競技会の開催には使用されない。

練習会場の予約プロセスは、競技によって異なる。

- 一部の競技では、チームは練習セッションを予約する必要がなく、会場は入場自由の方針で提供する。

- あらかじめ、大会前に練習セッションが事前に割り当てられる競技については、競技会場の SID でセッションを変更する選択肢が与えられる場合がある。
- 個々の競技の練習セッションの予約プロセスに関する詳細は、別途情報提供される予定である。

9.4.2 大会期間前の練習会場

日本国内で東京 2025 デフリンピックの事前トレーニングを実施する NDSF は、その実施に関する手配や費用について全責任を負う必要がある。LOC は、事前トレーニングキャンプを開催する NDSF に対し、財政的・人的支援は一切提供しない。

9.5 提供されるサービス

9.5.1 計量

デフリンピックでは計量が 5 競技で義務付けられている。柔道、空手、テコンドー、レスリング（フリースタイル・グレコローマン）の計量はそれぞれの競技会場で行われる。

競技固有のガイドラインは 2025 年 5 月に決定する各競技の技術要件において示すものとする。

9.5.2 飲食サービス

各競技会場では、競技開催日に競技に出場する選手団を対象に飲料を提供する予定である。練習会場では、練習に来る選手団を対象に飲料を提供する予定である。

東京には日本の食文化を楽しむ飲食施設が豊富にある。参考に「18.7 飲食施設の情報」に東京の飲食施設が調べられる Web ページを掲載している。

9.5.3 清掃サービス

各競技会場内は常に清潔に使用すること。日本では、ごみの分別が詳細に決まっているため、ごみを捨てる場合は、必ず分別を徹底し、定められたごみ箱に捨てること。例として、可燃ごみ、ペットボトル、プラスティックなどを分別して捨てる必要がある。

9.5.4 競技会場等のインターネット環境

東京 2025 デフリンピックでは、LOC は競技会場及び練習会場で無料の Wi-Fi のサービスを提供しない。会場によっては Wi-Fi の利用ができる場合もあるが、LOC では Wi-Fi のサポートは行わない。

9.5.5 救護サービス

「14. 2 大会時の救護サービス」に記載のとおり。

9.6 アンチ・ドーピング

9.6.1 アンチ・ドーピングプログラム

東京 2025 デフリンピックでは、「ICSD アンチ・ドーピング規則」及び「世界アンチ・ドーピング規程 (WADC)」に基づき、ドーピング・コントロールを実施する。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。

ICSD の規則に従って、各競技会場等にドーピング検査室 (DCS) を設置し、ドーピング・コントロールを実施する。検体は、世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) 認定ラボで分析される。

検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。ID カードを持参すること。

本競技会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ。)は、競技会にエントリーした時点で「世界アンチ・ドーピング規程」等に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。

上記にかかわらず、本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。

18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。

親権者の同意書フォームは、以下のリンク先からダウンロードできる。

[Anti-Doping | International Committee of Sport for the Deaf \(ICSD\)](#)

ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に ICSD 事務局へ提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。本競技会参加者は、行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、「ICSD アンチ・ドーピング規則」及び「世界アンチ・ドーピング規程 (WADC)」に基づき制裁等を受けることになるため、留意すること。

9.6.2 啓発活動

東京 2025 デフリンピックでは、ICSD の方針に従い、啓発活動を行う。

以下の情報を選手団専用ページに掲載する。

- 大会期間中に適用されるアンチ・ドーピング規則及び手順
- 2025 年禁止表国際基準
- 治療使用特例に関する国際基準 (ISTUE)

ドーピング検査の実施手順については、以下の動画を確認すること。

<http://www.ciss.org/icsd/testing-procedures>

9.6.3 大会期間中の運営

● ドーピング・コントロール中の情報保障

選手はドーピング検査時、補聴器や人工内耳を使用できる。

選手は検査室へ携帯電話等を持ち込むことができる。音声通訳アプリ等を使用することも認められている。

選手又はサポート要員は、通訳者を同行させることも可能である。選手 1 人当たり、通訳者 1 名のみがドーピング検査室に入ることができ、選手が尿を採取するとき以外はドーピング検査に立ち会うことができる。

● ドーピング・コントロール中の飲食

ドーピング調査に関する国際基準 (ISTI) に基づき、検体の提出に先だって食事又は飲料を摂取する場合には、自らの責任で摂取すること。

ドーピング検査室内に選手が水分補給することを目的として、未開封の水及び飲料を用意する。選手は、常に自分で飲料を選択し、未開封であることを確認してから摂取すること。

選手は、持参した食べ物をドーピング検査室内に持ち込み、摂取することもできる。ただし、食べ物の摂取はドーピング検査の待合室内に限る。

9.6.4 治療目的での使用に関する免除

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は、ICSD に「治療使用特例 (TUE)」の申請を大会 30 日前までに行うこと。

詳細については、以下を確認すること。

<http://www.deaflympics.com/icsd/therapeutic-use-exemption-tue>

9.7 表彰式

「11.2 表彰式」に記載のとおり。

9.8 スポーツ・インフォメーション・デスク (SID)

LOCはデフリンピック規約 DG30.1に基づき、主要な競技会場において、競技スケジュール、練習セッションの予約、競技会場の輸送サービスなど、競技関連の問合せに対応する SID を設置する。競技会場の SID はデフリンピックスクエアの SIC と緊密に連携する予定である。

LOCは SID で提供する情報の一部を選手団専用ページ等にアップし、チーム代表者が Web で閲覧することができるようになると検討している。

9.9 会場における技術撮影

チームが競技中に競技会場で独自の技術的な撮影を行いたい場合は、選手又は観客の座席エリアから非専門的なビデオカメラを使用して行うことができる。チームは非専門的なビデオカメラを使用して、練習セッション中に撮影することもできる。

9.10 競技会場における遺失物

競技会場内の遺失物及び拾得物については、各競技会場において保管する。遺失物を引き取るには、本人確認用の ID カード又はパスポートが必要になる。

なお、大会終了後は各競技会場での保管となるが、速やかに、各競技会場から最寄りの警察署へ遺失物として届けられる。



10

輸送

10 輸送

10.1 輸送の考え方

- サービス提供期間：2025年11月11日から2025年11月28日まで
(開会式の4日前から、閉会式の2日後まで)
※輸送時間 6時から23時まで（予定）
※入国ピーク時は選手団の到着に合わせた対応を行う予定
- LOCが選手団に提供する輸送サービスは、バス輸送とする。
- 宿泊施設から競技会場まで1時間程度で結ぶことを想定している。なお、競技会場までの交通事情によっては、1時間以上かかる可能性がある。
- (株)JTBを通じて宿泊予約を行った選手団に輸送サービスの提供がある。
- 輸送サービスとして提供するバスを含む全車両内は、飲食禁止及び禁煙である（一時的な水分補給は可能）。
- 公共交通機関（オリエンテーリングの伊豆大島までの船舶を含む。）は禁煙である。

10.1.1 所要時間及びルート図

所要時間及びルート図は、2025年5月以降に選手団専用ページ等でお知らせする。

10.1.2 指定乗降地

指定乗降地とは、各宿泊施設をエリアごとに分けたバスの乗降場所である。
宿泊施設から指定乗降地までは徒歩となり、おおむね徒歩15分以内の場所で検討している。
なお、指定乗降地の詳細は、2025年5月以降に選手団専用ページ等でお知らせする。

10.2 選手団輸送

10.2.1 選手用バス時刻表

時刻表は翌日の競技セッションに合わせ、前日に変更する可能性がある。
大会中の最新の時刻表は、選手団専用ページ等、競技会場、各宿泊ホテル掲示板等において適宜更新されるため、毎日必ず確認すること。

想定された運行時間で運行する予定であるが、道路の混雑状況等により変更になる可能性があるため、時間に余裕のある移動が必要である。

なお、選手用バス時刻表の詳細は、2025年10月以降に選手団専用ページ等でお知らせする。

10.2.2 空港輸送

- 入国時：公式空港から ID センターまでの輸送を提供する。
ID センターで ID カードの発行を受けた後、指定乗降地までの輸送を提供する。
- 出国時：指定乗降地及びデフリンピックスクエアから公式空港までの輸送を提供する。
公式空港は以下となる。
 - 東京国際空港（羽田空港） 第2ターミナル（国際線）、第3ターミナル
 - 成田国際空港（成田空港） 第1ターミナル、第2ターミナル

※公式空港以外の空港からの輸送サービスはない。

※上記以外の空港又は日本国内での事前キャンプ地や飛行機の乗り継ぎによって国内線を利用し、記載外のターミナルを使用する場合、自身で記載の空港ターミナルまで移動することで輸送サービスを利用できる。

 - 射撃競技は、日本国内の銃器や弾薬の所持、携帯等に関する非常に厳しい規則や規制などにより、入出国時及び輸送時において特殊な手続が必要となるため、入国日・出国日及び利用空港を指定する予定である（「4.3 銃器・弾薬」に記載のとおり）。
 - 自転車競技は、自転車の輸送が必要になるため、指定した入国日に限り輸送を提供する（「5.2 入国日の指定等」に記載のとおり）。
 - サッカーは、チーム全員で入国した場合に限り、公式空港から直接 Jヴィレッジまでの輸送を各チーム1回提供する（「5.2 入国日の指定等」に記載のとおり）。
 - バスは飛行機の定時運行を想定して運行しているため、フライトが遅延した場合は、空港内の乗降場が限られている等の理由から、到着後にしばらく空港内で待機してもらう可能性がある。

10.2.3 競技期間中の輸送

- 指定乗降地と競技会場を直接結ぶものと輸送拠点を介するものがある。
- サッカー、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール競技に関しては、チームバスを用意する。
- 指定乗降地から競技会場及び練習会場までの輸送はチームバスを運行する。
- チームバスは、入国、競技、練習にのみ使用できる。
- チームバスの運用方法等は、2025年5月以降に選手団専用ページ等でお知らせする。

10.2.4 遠方で実施する競技の輸送

● オリエンテーリング（伊豆大島内）

- 竹芝客船ターミナル（東京都港区海岸 1-16-1）から伊豆大島までの往復の移動に伴う輸送サービスとして、船舶での輸送サービスの提供がある。船舶でのサービス内容（提供時間等）の詳細は 2025 年 2 月以降に選手団専用ページ等でお知らせする。

● サッカー（福島県内）

- チーム全員で入国した場合に限り、公式空港から直接 J ヴィレッジまでの輸送を各チーム 1 回提供する（「5.2 入国日の指定等」に記載のとおり）。
- 入国情のバスは原則チームバスで提供する。
- ID カードは、福島 J ヴィレッジで発行する（「3.4.2 発行場所」に記載のとおり）。
- 開会式は福島 J ヴィレッジでのサテライト参加となるため、開会式会場までの輸送サービスの提供はない。
- 宿泊施設から競技会場及び練習会場までの輸送は、チームごとにチームバスを提供する。
- 閉会式に参加するために、11 月 26 日に福島 J ヴィレッジほかの宿泊施設から閉会式会場までの輸送を提供する。ただし、このバスはチーム単位ではなく各国同乗のバスとなる。
- 出国時、福島 J ヴィレッジから公式空港まで輸送サービスを提供する。ただし、このバスはチーム単位ではなく各国同乗のバスとなる可能性がある。

● 自転車（静岡県伊豆市及び周辺市）

- 自転車競技は自転車の輸送が必要になるため、指定入国情に限り公式空港から ID センターまでの輸送を提供する。
- ID センターで ID カードの発行を受けた後、指定乗降地までの輸送を実施する。
- 競技期間中は宿泊施設から競技会場である日本サイクルスポーツセンターまで定時運行での輸送サービスの提供がある。
- 競技期間中の自転車の保管は、競技会場又は宿泊施設内の指定された場所での保管となる。宿泊施設の客室内への自転車の持ち込みは、運搬用ケースに入っている状態を除き、禁止である。
- 自転車の輸送に必要な費用については、選手団の自己負担となる。自己負担での輸送にかかる費用は、2025 年 2 月以降に改めて提示する。自己負担での輸送トラック等の手配については、AMARYS にて問い合わせること（「10.3 自己手配で宿泊施設を予約した国の輸送」に記載のとおり）。
- 開閉会式に参加するために、2025 年 11 月 15 日及び 2025 年 11 月 26 日に静岡県伊豆市内他の宿泊施設から開閉会式会場までの輸送サービスの提供がある。開閉会式終了後、

静岡県伊豆市内ほかの宿泊施設まで輸送サービスの提供がある。

- 出国時、静岡県伊豆市内ほかの宿泊施設から公式空港まで輸送サービスの提供がある。
- 日本滞在中に自転車で公道等を走る場合には、制限速度を守るなど日本の法律を遵守する必要がある。
- 日本の道路交通法では、公道を走る自転車にはブレーキの装備が義務付けられている。そのため、ブレーキが装備されていない競技用自転車は、日本の公道を走ることができない。

10.2.5 開閉会式輸送

- デフリンピックスクエア及び指定乗降地と開閉会式会場を結ぶ。
- サッカーの選手団は、開会式は福島からサテライト参加となるため、開会式当日の福島 Jヴィレッジから開会式会場までの輸送サービスの提供はない。
- 自転車の選手団は、開閉会式に参加するために 2025 年 11 月 15 日及び 2025 年 11 月 26 日に静岡県伊豆市内他の宿泊施設から開閉会式会場までの輸送サービスの提供がある。開閉会式終了後には、静岡県伊豆市内他の宿泊施設まで輸送サービスの提供がある。

10.2.6 観戦目的の輸送

LOC が提供する競技会場への輸送サービスは、当日の競技に参加・出場する選手、競技関係者の乗車が最優先される。応援や試合観戦のために輸送サービスを利用する場合は、当該競技の選手輸送に支障をきたさない場合にのみ限られる。

10.3 自己手配で宿泊施設を予約した国の輸送

(株) JTB を通じて宿泊予約をせず、自己手配で宿泊施設を予約した場合、輸送サービスを受けることができない。

この場合、各国選手団の責任と費用において車両を手配すること。車両の手配は(株) JTB でもあっせん可能である（選手団でレンタカーの利用を希望する場合の詳細は、「10.4 レンタカーの利用」に記載のとおり）。

自己手配した車の利用にかかる駐車場代及び保険加入費用等は、手配した選手団の負担である。

自己手配した車両が交通事故等を起こした場合、各国選手団が責任を持って、事故対応及び被害者への賠償等を行うこと。

宿泊施設及び車両を自己手配する場合においても、前述した宿泊の項目に記載の AMARYS に必ずログインし、AMARYS で連絡をすること。連絡がない場合、競技会場の乗降場が利用できないことがある。

10.4 レンタカーの利用

日本滞在中に選手団でレンタカーの利用を希望する場合、手配は選手団で行うこと。レンタカーの予約（運転手配も含む。）は（株）JTBでもあっせん可能である。

レンタル費用や利用にかかる駐車場代及び保険加入費用等は、手配した選手団の負担である。

選手団関係者が運転する場合には、日本で運転できる国際運転免許証※が必要となる。

※ジュネーブ条約締約国が発行し、同条約に定める様式に合致した国際運転免許証。ただし、

ジュネーブ条約締約国が発行した国際運転免許証であっても、他の条約（ウィーン条約等）に基づく様式により発行された国際運転免許証では、日本で運転はできない。

（警視庁サイト）

[Procedures related to Driver's License \(運転免許関係\) 警視庁 \(tokyo.lg.jp\)](#)

レンタカー利用時に交通事故等を起こした場合、各国選手団が責任を持って、事故対応及び被害者への賠償等を行うこと。

10.5 車両認証 / 駐車許可証

選手団自ら手配した車両が、競技会場等の乗降場を使用する場合に発行予定である。

詳細は、2025年5月以降に選手団専用ページ等でお知らせする。

10.6 荷物輸送

バスに乗せられる荷物の容量には制限があるため、1人2個以上のスーツケース等荷物が多くある場合は、事前にAMARYSで問合せすること。

以下の競技備品※にかかる輸送の費用は、選手団の自己負担となる。

※自転車、大型のチーム荷物など

上述の自己負担となる貨物輸送のトラック等の手配は、（株）JTBでもあっせん可能である。あっせんを希望する場合はAMARYSで問い合わせること。

10.7 公共交通機関利用

日本の公共交通機関は、鉄道及びバス共に運行ダイヤが正確で、運行本数も多いことなどから、公共交通機関を利用した移動も利便性が高い。



11

セレモニー

11 セレモニー

11.1 開閉会式

東京 2025 デフリンピックの開会式は、2025 年 11 月 15 日に東京体育館で実施される。

東京 2025 デフリンピックの閉会式は、2025 年 11 月 26 日に東京体育館で実施される。

開閉会式入場者については、事前登録制を予定している。開閉会式の入場者及び入場方法等に関する詳細は後日、選手団専用ページ等でお知らせする。

11.1.2 開閉会式のセキュリティ

開会式及び閉会式を安全かつ円滑に実施するため、民間警備事業者を中心として、治安機関と連携を図り、会場内の警備を実施する。

開会式及び閉会式に参加する者は、ID カードが入場許可証となることから、必ず携行するとともに、LOC から別に指示がある場合を除き、会場内では他者から見える位置に身に付けておくこと。

開会式及び閉会式の手荷物は最小限とすること。

東京 2025 デフリンピックでは、危険物、違法物、禁止物品に類似した物品（複製銃、爆発物類似物、違法薬物に類似した白い粉など）は、持込禁止であり、開閉会式会場においても持込禁止となる。

詳細は後日、選手団専用ページ等でお知らせする。

11.1.3 開閉会式時携行禁止物品及び服装

開閉会式参加に当たっては、デフリンピック規約 DG16.12 宣伝及び広告を順守するとともに、特に以下の点に留意すること。

- 政治的、思想的若しくは宗教的な主義・主張、公共の秩序・道徳に反する内容、あるいは差別的内容の広告材料若しくは観念を表示し、若しくは連想させ、又はデモンストレーションに使用され得るものや式典の運営に支障を及ぼすおそれのある物の持ち込みや服装を禁止する。
- 入場行進時には上記に加え、飲食物、大型の荷物、傘、その他式典運営を妨害し他人に迷惑若しくは危険を及ぼし、又はそれらのおそれがあると式典関係者が認めるものの携行を禁止する。

11.2 表彰式

表彰式は、原則、競技・種別ごとに各競技会場で行われる。

表彰式では、金、銀及び銅メダリストへのメダル贈呈、国旗掲揚及び金メダリストの国歌演奏が行われる。

表彰式には、選手以外は参加できない。

11.2.1 表彰時携行禁止物品

表彰式の際、IDカードは表彰式チームスタッフに一時的に手渡すか、他者から見えないようにしなければならない。

表彰式の間、選手は手ぶらで参加することとし、国旗、携帯電話、水筒、カメラ等の私物も持ち込むことはできない。

11.2.2 賞状・参加証及びメダルケースの配布

デフリンピックスクエアにおいて、選手団代表へ以下のものを配布する。

- 1位から8位：賞状
- 参加選手、競技役員全員：参加証

メダルケースの配布方法・場所については、後日、選手団専用ページ等でお知らせする。

11.2.3 国旗及び国歌のデータ収集

表彰式で使用する国旗及び国歌のデータの最新版を、各国選手団が提出すること。提出後変更があった場合は、速やかに変更後のものを再提出すること。

詳細は後日、選手団専用ページ等でお知らせする。



12

会場警備

12 会場警備

12.1 競技会場

会場内での選手及び観客等の安全確保に努めるため、競技会場全体の巡回警備を行い、事件・事故発生時に適切な初期対応を行う。

競技会場に入場する者は、ID カードが入場許可証となることから、必ず携行するとともに、LOC から別に指示がある場合を除き、会場内では他者から見える位置に身に付けておくこと。

12.2 会場における持込禁止物品及び制限品

東京 2025 デフリンピックでは、危険物、違法物、禁止物品に類似した物品（複製銃、爆発物類似物、違法薬物に類似した白い粉など）は、競技会場、デフリンピックスクエア、宿泊施設を含む全ての施設において持込禁止となる。

詳細は後日、選手団専用ページ等でお知らせする。



13

ユニバーサル
コミュニケーション

13 ユニバーサルコミュニケーション

13.1 ユニバーサルコミュニケーション

国籍や障害にかかわらず、スムーズなコミュニケーションを実現する様々なデジタル技術も活用して、「誰もが円滑につながる大会」を実現する。

- 競技会場での案内や掲示などにビジョンやサイネージを活用するとともに、東京 2020 大会で使用された多言語同時翻訳などの技術を活用するなど、選手や関係者の円滑なコミュニケーションをサポートする。
- デフリンピックスクエアにおいて、技術の展示や PR を行う。



14

救護サービス

14 救護サービス

14.1 日本の医療制度（医療機関の受診方法を含む）

日本の医療制度の一般的なことは、以下のリンク先に詳しく記載されているため、必ず事前に内容を確認すること。外国人傷病者に対応できる医療機関についても検索することができるため、参考にすること。

(日本語) ・[日本を安心して旅行いただくために | 日本国政府観光局](#)

(English) ・[For safe travels in Japan | Japan National Tourism Organization\(JNTO\)](#)

● 医療機関での受付から会計までの流れ



※1 診察結果の説明をきちんとお聞きください。

※2 ここで会計はこれまで受けた診察に対する報酬です。大きな病院ではクレジットカードを使えますが、クリニックでは現金で支払うのが一般的です。

キャッシュレス付き海外旅行保険に加入している場合は、支払いの必要はありませんが、海外旅行保険に加入されていない場合は、全額自己負担となる可能性があります。

注：キャッシュレスの条件は保険により異なりますので、事前に保険会社に確認して下さい。

※3 薬代については薬局で別に支払います。医療機関によっては院内処方の場合もあります。

※ JNTO から引用

● 医療機関の受診

医療機関受診時の医療費は自己負担である（民間医療保険に加入していても一時的に支払う義務が生じる。）。医療費は高額になる場合があり、クレジットカードを利用できない医療機関もあるため、医療機関への受診時には十分な日本円を用意しておくこと。

医療機関受診に関わる全ての医療費の負担について、LOCは一切の責任を負わない。傷病者本人が十分な日本円を持ち合わせていない場合は、各国選手団で対応し、必ず支払うこと。

また、医療機関受診時は、受診者と同国の選手団の中から必ず付き添い人を指定し、同行すること（発話での会話が可能な人が付き添うことが望ましい。）。

● 医療機関受診時の持ち物

日本国内において医療機関を受診する各国選手団は、次の持ち物を医療機関に持参すること。各国選手団は、救急搬送時などの緊急時に、これらの持ち物を速やかに持ち出せる手段を講じておくこと。

必要な持ち物	持参することが好ましい持ち物
<ul style="list-style-type: none">・日本円（クレジットカード含む）・民間医療保険証券又は保険証・パスポート等の身分証明書	<ul style="list-style-type: none">・IDカード（救急医療情報カードを含む）・自身の携帯電話・自身が医療機関から処方されている医薬品・補聴器を使用している方は補聴器・人工内耳（体外装置）

● 医療機関受診時の注意事項

傷病者本人が選手の場合、「ドーピング検査を受ける可能性のある選手であるため、禁止物質を含まない薬を処方して欲しい」ことを必ず医師に伝えること。

日本では、医師の指示に従って医療サービスを受け、医療費は後払いである。診療後に初めて支払金額を提示されることが多いため、必要に応じて医療サービスを受ける前に医療費を確認すること。

● 医療機関への受診の要否を迷った場合

各国選手団が医療機関受診の要否について判断に迷った際は、以下を参照すること。

(日本語) · [東京版救急受診ガイド | 東京消防庁](#)

(English) · [Tokyo EMS guide | Tokyo Fire Department](#)

14.2 大会時の救護サービス

東京 2025 デフリンピックでは、デフリンピックスクエア、開閉会式会場、競技会場及び公式練習会場の救護所開設時間帯において、以下の救護サービスを提供する（救護所開設時間帯以外については、各自で対応し、自己負担とする。）。

● 救護サービス

全ての会場等に救護所を設け、必要な救護スタッフを配置する。救護スタッフは会場等で発生した怪我や病気について、無料で応急処置のみを行う。なお、救護スタッフにより救急搬送が必要と判断された場合は 119 番通報し、到着した救急自動車が医療機関へ搬送する。

● 提供場所等

場所	期間	時間
デフリンピックスクエア	各国選手団の入国から出国までの間とする。	原則、救護所開設時間帯とする。
開閉会式会場	「11.1 開閉会式」のスケジュールによる。	
競技会場 (公式練習会場を含む。)	「18.4 競技日程」による。	

● その他

「7.5.4 宿泊時の急病人等への対応」に記載のとおり。

● 救急医療情報カード

「3.4.5 救急医療情報カード」に記載のとおり。

14.3 救急搬送

救急搬送に備え、会場等を管轄する消防関係部署等との連携体制を構築する。

日本では119番通報から救急自動車が現場に到着するまで平均で10分程度となっている。

救急自動車が到着した際には、救急隊が症状に適した医療機関に搬送する。

会場等では、救護スタッフが必要と認めた場合、救急自動車で傷病者を医療機関に搬送することができる（無料）。選手等で付き添い可能な人員がいる場合は、必ず救急自動車に同乗すること。なお、救急自動車への同乗は人数に制限があるため、救急隊の指示に従うこと。宿泊施設等への帰りの交通費については、自己負担となる。

救急自動車以外の手段で医療機関を受診した場合や自身で医療機関受診が必要と判断した場合の移動に伴う往復交通費（タクシーデ等）は、自己負担とする。

14.4 公衆衛生

2024年9月現在、日本に入国する場合に有効なワクチン証明書又は出国前検査証明書の提出は必要ない。日本国内の感染症の発生状況については、以下を参照すること。

（日本語） · [感染症発生動向調査 | 国立感染症研究所](#)

（English） · [Infectious disease outbreak trend survey | National institute of infectious diseases\(NIID\)](#)



15

保険

15 保険

15.1 保険

選手等が医療機関で支払う医療費は、各自が全額負担することになる。怪我や病気の症状によっては医療費が高額になる場合があるため、来日前に十分な補償やサービスが受けられる民間医療保険に必ず加入すること。

民間医療保険加入の必要性及び入国後に加入できる民間医療保険については、以下を参照すること。

- (日本語) · [日本を安心して旅していただくために（具合が悪くなったとき） | 日本政府観光局](#)
(English) · [For safe travels in japan\(Guide for when you are feeling ill\) | Japan National Tourism Organization](#)

日本入国後でも加入できる旅行保険があります

日本に入国後でも加入できる民間医療保険は、COVID-19を含めて日本滞在中に十分な補償を受けられます。

- 高額な治療費でも対応する1,000万円の治療費補償
- 「通訳サービス」・「医療機関紹介・手配サービス」付
- COVID-19も対象
- 医療費のキャッシュレス*対応の交渉など

*治療費などの請求を短期滞在入国者等に行わず、請求書を保険会社（サービスを委託しているアシスタント会社を含む）に送付することにより、短期滞在入国者等が医療機関等にその場での費用清算なく受診できる仕組み

民間医療保険はオンラインですぐに加入できます。十分な補償・サービスの保険に加入して日本の旅を楽しみましょう。

※日本入国前にはアクセスできません



※ JNTO から引用

なお、日本での旅行中の医療費の目安は、以下のとおり。

日本を旅行中の医療費は高額になるケースがあります

自転車と衝突し、外傷性気胸・肋骨骨折の場合

手術+入院+移送費

750万円

手術及び19日入院、付添医師を手配し、民間機（ビジネスクラス）にてアメリカに帰国した場合

急性心筋梗塞の場合

手術+入院+移送費

1,000万円

手術及び45日間入院、付添医師を手配し、民間機（ビジネスクラス）にてシンガポールへ帰国した場合

*出典：東京海上インターナショナルアシスタンス株式会社 (Tokio Marine International Assistance)



医療費不払いの経歴がある訪日外国人は、以降の日本への入国を拒否される可能性がありますのでご注意ください。

※ JNTO から引用

傷病者本人が医療費を支払えない場合、各国の選手団等で対応し、必ず支払うこと。

15.2 対物損害保険

LOC は、NDSF や個人の財産及び用具に対する保険を提供しないため、輸送中の損失・損害(競技会場又は宿泊施設、デフリンピックスクエア、輸送ハブ等)、練習や競技での使用中の損失・損害、競技(練習)会場・宿泊施設・デフリンピックスクエア内等での保管中の損失・損害など、NDSF や個人の財産及び用具に対する全ての損失・損害に備えた、保険に加入することを推奨する。なお、LOC は、NDSF や個人の財産及び用具に対する全ての損失・損害に対して、一切責任を負わない。

15.3 賠償責任保険

LOC は、NDSF に対し賠償責任保険を提供しないため、NDSF・選手・チーム役員等が他人に怪我を負わせたことによる賠償責任、NDSF・選手・チーム役員等が他人の所有物を破損させたことによる賠償責任など、NDSF・選手・チーム役員等が行う全ての行為に対する賠償責任に備えた、賠償責任保険に加入することを推奨する。

15.4 自動車保険

LOC が提供する車両は全て第三者賠償(対人・対物)、運転者及び搭乗者に対する人身傷害、車両保険を含む適切な自動車保険に加入している。ただし、これには、所持品及び手荷物の保険は含まれない。

なお、NDSF が独自に調達した車両については、LOC は責任を負わない。

そのため、NDSF は独自に車両を調達した場合、自動車保険に加入しなければならない。



16

メディア

16 メディア

16.1 メディアに対する LOC の役割

メディアが必要な情報を隨時収集できるとともに、メディア向けの大会情報の発信拠点としてサービス提供を行うメディアセンターを設置する。また、各競技会場においてもメディア向けのサービス提供を行うことで、メディアの活動を支援していく。

16.2 メディア用 ID カード

ICSD が定める手続に沿って、メディア用 ID カードを発行する。その申請に基づき、アクセスできる範囲を ID カードにて確認し、取材の許可を行う。

なお、メディア用 ID カードに係る手続等の詳細は、後日お知らせする。

16.3 メディアセンター

各国のメディア向けに必要な大会情報を発信するメディアセンターをデフリンピックスクエア内に設置する。

記者会見を適宜実施し、大会運営状況(競技スケジュール、競技結果等)をメディアへ共有する。
メディアが選手等にインタビューできる場としてインタビューブースを設置する。

メディアが取材の準備や取材後の原稿執筆作業等を行えるよう、メディア用作業諸室を設置する。

16.4 会場向けメディアサービス

原則、メディアが各競技会場で円滑に取材ができるよう、以下のとおりメディア向けのサービス提供を行う。

- メディアが会場内で作業ができるメディア用諸室を設置する。
- 観客席の一部にメディア用の席を設け、試合を観戦しながら作業ができる環境を用意する。
- メディアが円滑に取材活動できるように、撮影許可エリアを定める。
- メディアが競技後の選手にインタビューできるミックスゾーンを設ける。



17

ブランド保護

17 ブランド保護

17.1 ブランド保護及び使用

17.1.1 大会エンブレム

国内唯一の聴覚障害者、視覚障害者のための大学である、国立大学法人筑波技術大学の総合デザイン学科を中心とした産業技術学部の学生がエンブレムのデザイン案を複数制作し、ろう学校を含む都内中高生の投票により決定した。



- 人々の繋がりを意味する「輪」をテーマとした。
- デザインでは、デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表し、デフリンピックを通して競技と話題に触れ、互いの交流やコミュニティが「輪」のように繋がった先には、新たな未来の花が咲いていくことを表現した。また、花は桜の花弁をモチーフとした。
- デアスリート同士の繋がり、観客や子どもたちとの繋がりなど様々な繋がりの輪をイメージし、子どもたちに楽しく描いてもらえるように1本の線で制作した。

17.1.2 大会エンブレムの使用

東京 2025 デフリンピックの大会エンブレム使用ガイドラインは、東京 2025 デフリンピック大会ポータルサイト <https://www.deaflympics2025.com/brand/emblem> で確認できる。

大会エンブレムを使用する際には、大会エンブレム使用ガイドラインに従って申請が必要である。

東京 2025 デフリンピックにおける大会エンブレムや大会名称をはじめとする知的財産は、日本国内では商標法、不正競争防止法、著作権法等により保護されている。

なお、報道機関が報道目的で使用する場合は申請の必要はない。また、SNS や講演等における個人による使用は認めない。

17.1.3 大会公式マスコット

東京都のスポーツ推進大使である「ゆりーと」を東京 2025 デフリンピック公式マスコットとして任命した。

東京 2025 デフリンピック公式マスコットゆりーとのデザインは、「桜の花弁」がモチーフとなっている大会エンブレムとの統一感を生む桜色を用いた T シャツを着用している。



17.1.4 東京 2025 デフリンピック応援隊

東京 2025 デフリンピックを多くの方々が応援し、大会に親しみを持ってもらえるよう、各自治体等のキャラクターによる「東京 2025 デフリンピック応援隊」を結成した。東京 2025 デフリンピック応援隊は、各地で大会に向けた気運醸成やデアスリートを応援し、大会を盛り上げる。

以下、2024 年 9 月末時点での東京 2025 デフリンピック応援隊のメンバーである。

	キャラクター名	キャラクター	所属団体
1	ベコ太郎		福島県
2	ふじっぴー		静岡県
3	ふちゅこま		東京都府中市

	キャラクター名	キャラクター	所属団体
4	SUSIE (スージー)		東京都スポーツ文化事業団
5	キビタン		福島県
6	かながわキンタロウ		神奈川県
7	コトミちゃん		東京都江東区
8	タッタカくん		東京都三鷹市
9	はねぴょん		東京都大田区
10	うまべえ		東京都東大和市
11	チッキー & クラちゃん		公益財団法人 東京都スポーツ協会
12	ふわっふー		埼玉県富士見市

	キャラクター名	キャラクター	所属団体
13	コバトン・さいたまっち		埼玉県
14	品川区3競技応援キャラクター (左から、シナカモン、 ビーチュウ、やたたま)		東京都品川区
15	ビュー坊		東京都足立区
16	あいちゃん		神奈川県愛川町
17	いこいーな	 ©シンエイ/西東京市	東京都西東京市
18	みらいくん・のぞみちゃん		埼玉県三芳町
19	菊松くん		福島県二本松市
20	はなてらすちゃん	 伊勢市観光PRキャラクター はなてらすちゃん ©2008 伊勢市	三重県伊勢市
21	ぽぽたん	 ©むさしのフロントあさか	埼玉県朝霞市

	キャラクター名	キャラクター	所属団体
22	ノーマくん・ライちゃん	 <small>ノーマライゼーション条例PRキャラクター</small>	埼玉県さいたま市
23	つなが竜ヌウ	 <small>さいたま市PRキャラクター</small>	埼玉県さいたま市
24	もりりん		神奈川県秦野市
25	くろしおくん	 <small>©高知県くろしおくん</small>	高知県
26	トライくん	 <small>© 2018 Higashiosaka city</small>	大阪府東大阪市



18

付録

18. 付録

18.1 会場マスタープラン

18.1.1 陸上競技

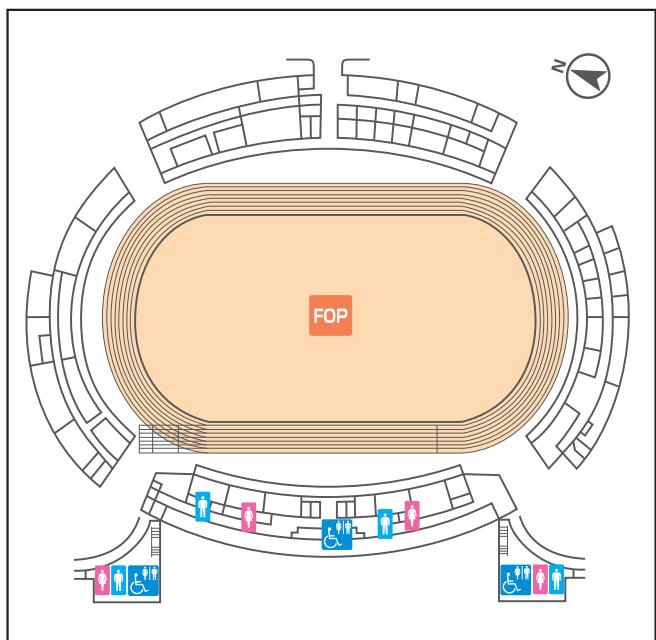
会場名：駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

開業：1964 年

収容人数：20,010 人

住所：東京都世田谷区駒沢公園 1-1

緯度・経度：N35.6255, E139.6636



FOP Field of Play

トイレ

車いす使用者対応トイレ

18.1.2 バドミントン

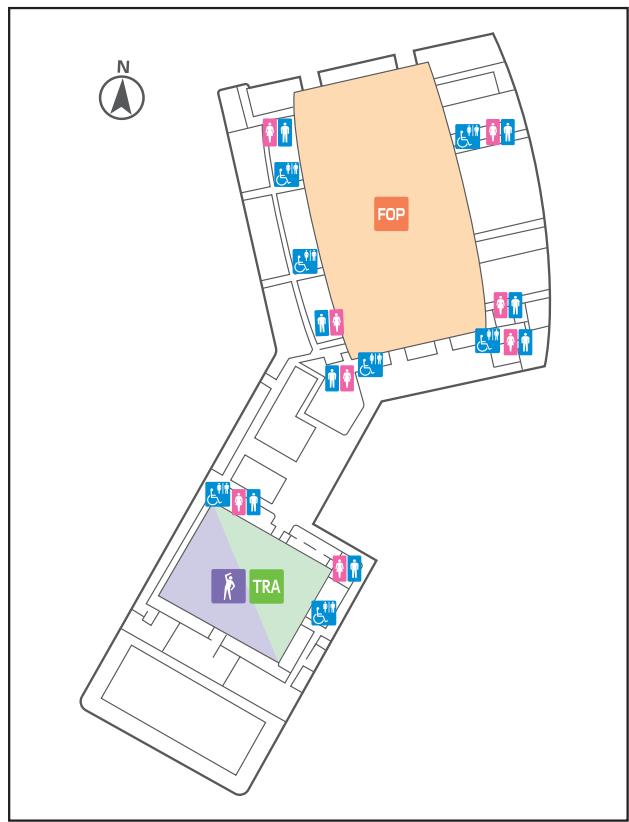
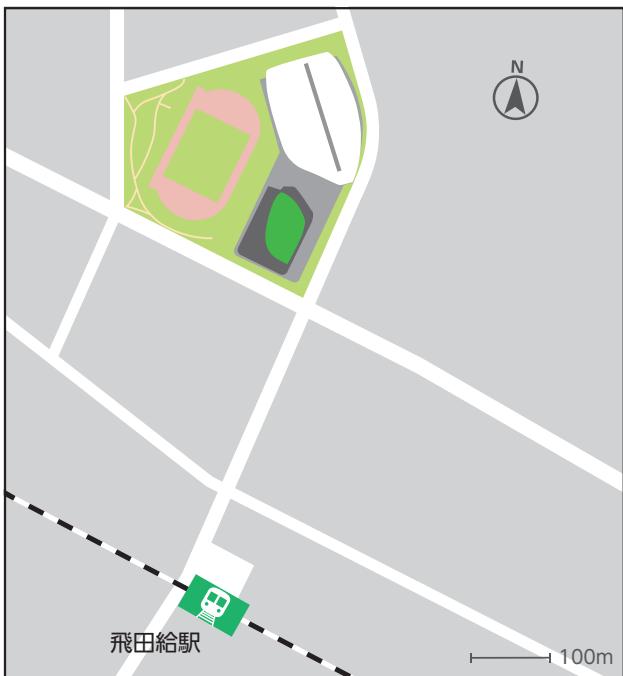
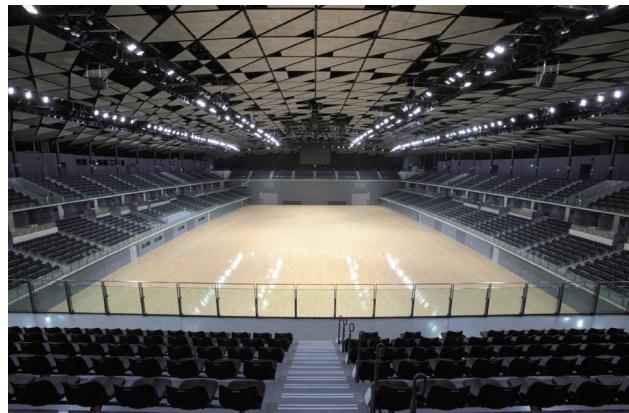
会場名：武蔵野の森総合スポーツプラザ

開業：2017年

収容人数：6,010人

住所：東京都調布市西町 290-11

緯度・経度：N35.6655, E139.5247



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トレーニング
エリア



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ

18.1.3 バスケットボール

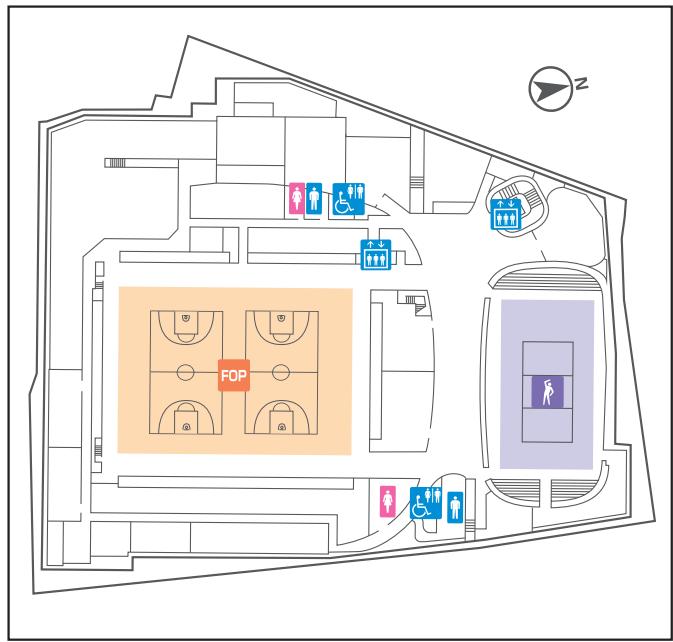
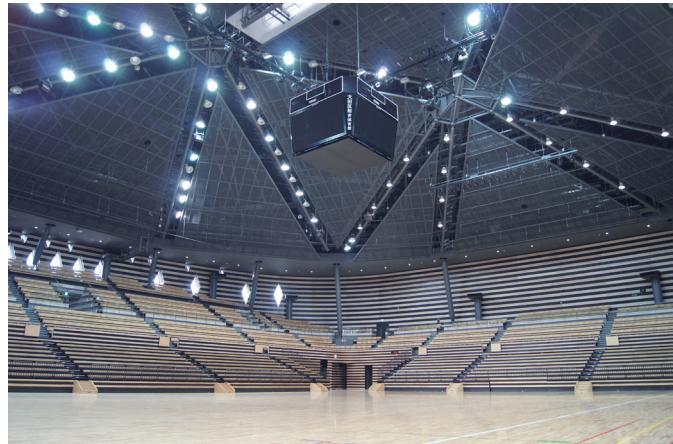
会場名：大田区総合体育館

開業：2012年

収容人数：4,012人

住所：東京都大田区東蒲田 1-11-1

緯度・経度：N35.5643, E139.7279



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.1.4 ビーチバレー場

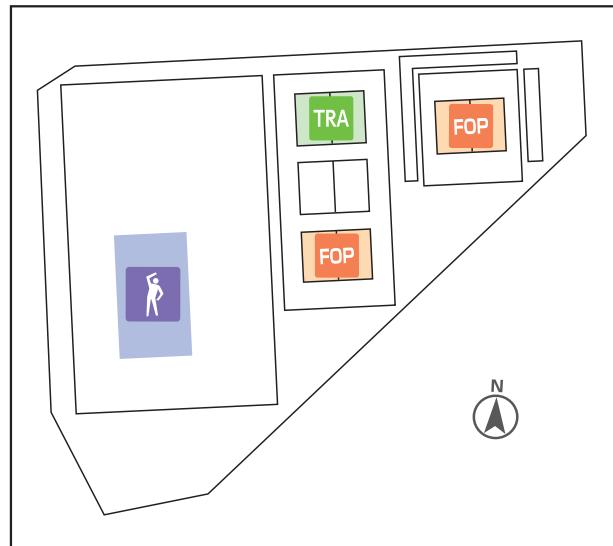
会場名：大森ふるさとの浜辺公園ビーチバレー場

開業：2017年

収容人数：約250人

住所：東京都大田区大森東1-37-1

緯度・経度：N35.5746, E139.7416



FOP Field of Play

WUA ウォームアップ
エリア

TRA トレーニング
エリア

18.1.5 ボウリング

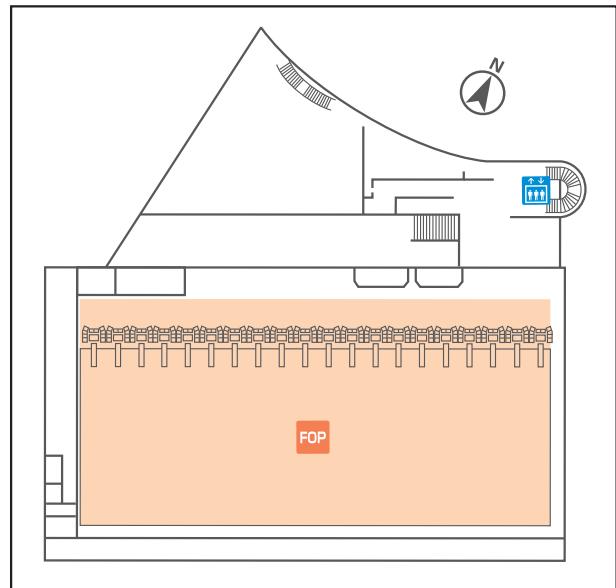
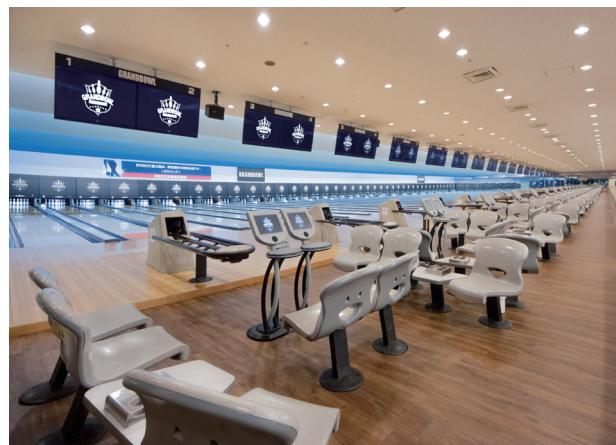
会場名：東大和グランドボウル

開業：2013年

収容人数：-

住所：東京都東大和市桜が丘 1-1330-19 BIGBOX 東大和 2階

緯度・経度：N35.7337, E139.4337



 FOP Field of Play

 エレベーター

18.1.6 自転車（ロード）

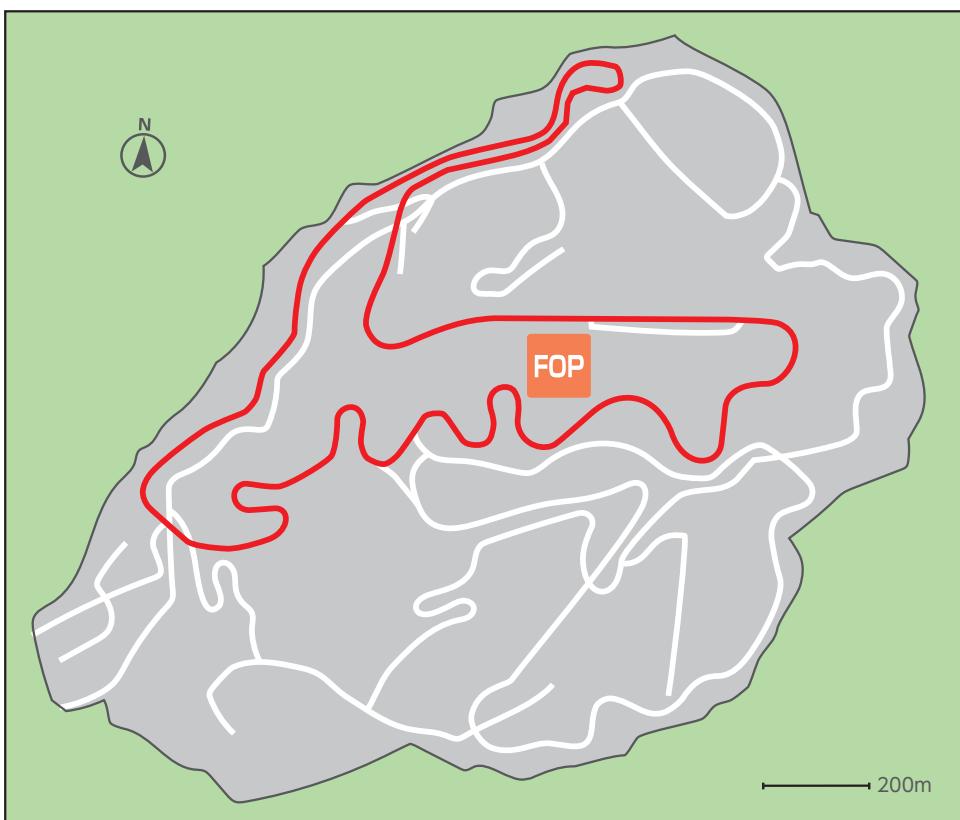
会場名：日本サイクルスポーツセンター

開業：1965 年

収容人数：-

住所：静岡県伊豆市大野 1826

緯度・経度：N35.0110, E139.0127



18.1.7 サッカー

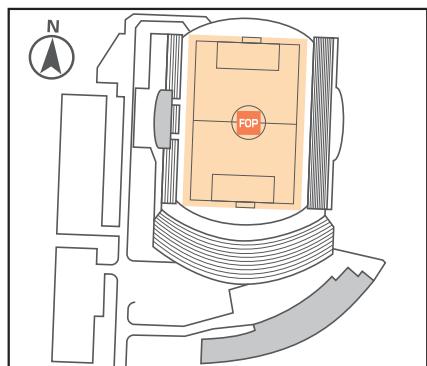
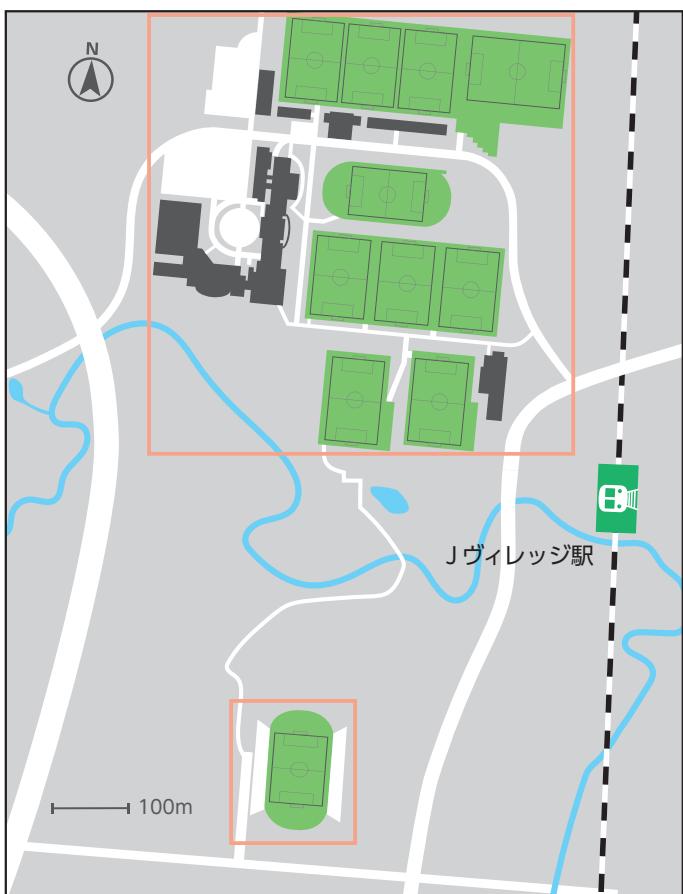
会場名：Jヴィレッジ

開業：1997年

収容人数：5,000人（スタジアム）

住所：福島県双葉郡楢葉町大字山田岡美シ森8

緯度・経度：N37.2387, E141.0032



FOP Field of Play

 ウォームアップ
エリア

TRA トレーニング
エリア

18.1.8 ゴルフ

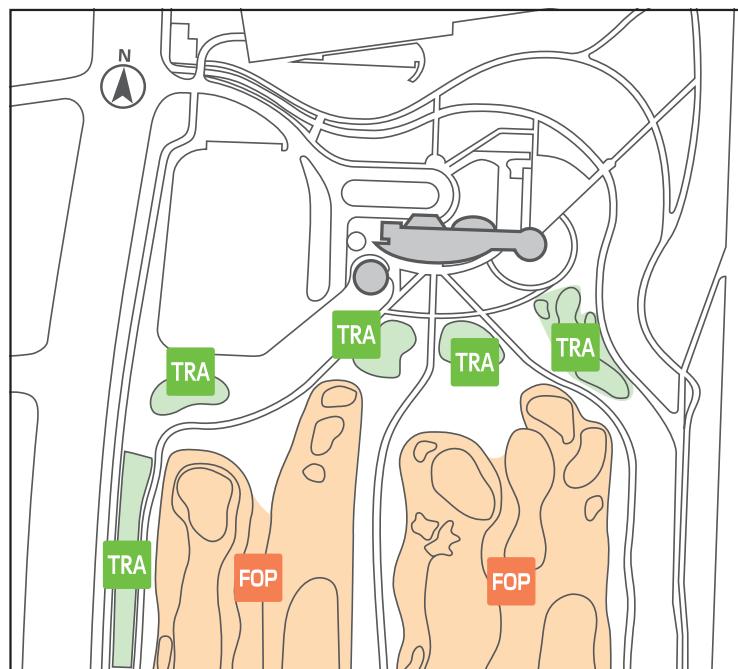
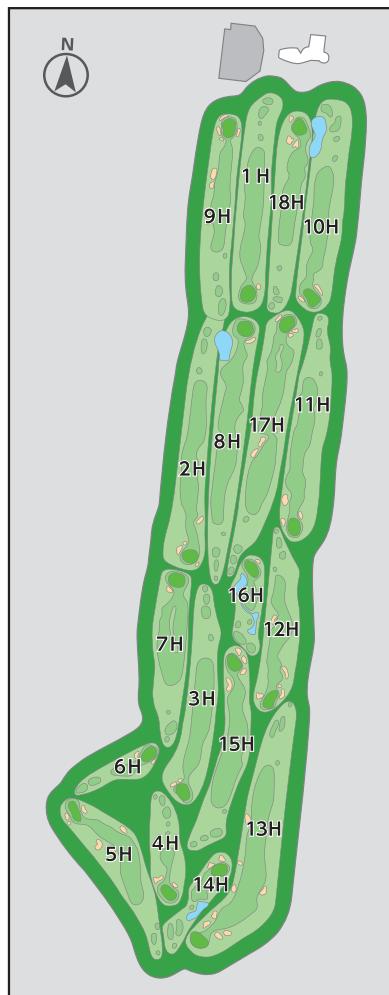
会場名：若洲ゴルフリンクス

開業：1990 年

収容人数：-

住所：東京都江東区若洲 3-1-2

緯度・経度：N35.6223, E139.8375



FOP Field of Play

TRA トレーニング
エリア

18.1.9 ハンドボール

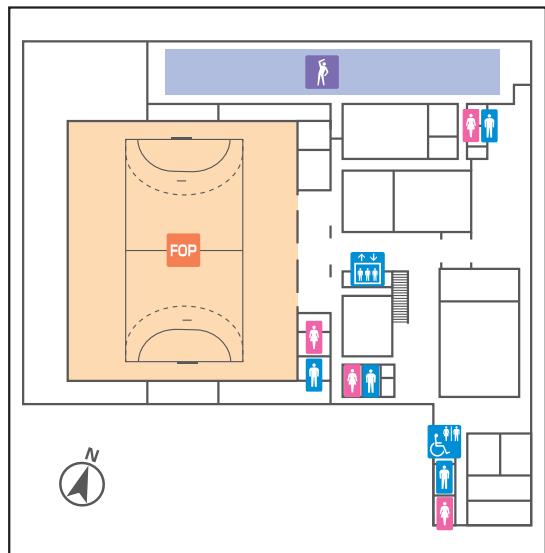
会場名：駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

開業：1964年（2017年改築）

収容人数：1,558人

住所：東京都世田谷区駒沢公園 1-1

緯度・経度：N35.6232, E139.6628



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.1.10 柔道

18.1.11 空手

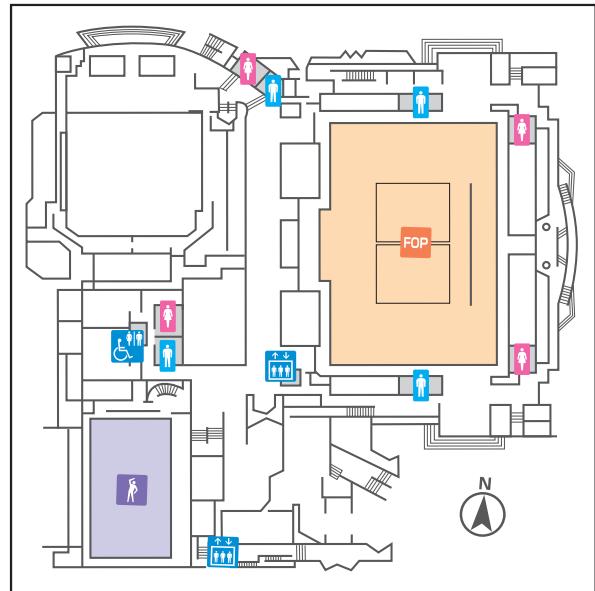
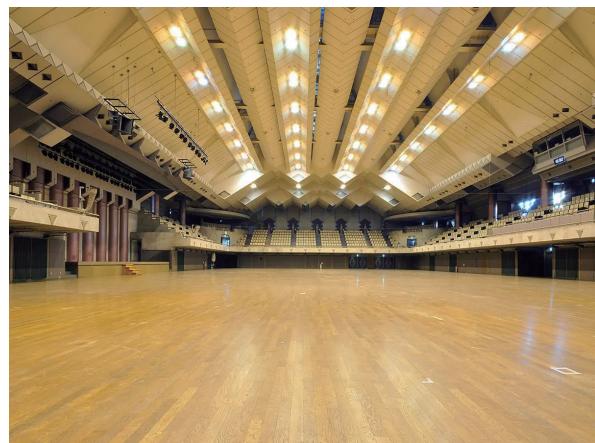
会場名：東京武道館

開業：1989年

収容人数：1,728人

住所：東京都足立区綾瀬 3-20-1

緯度・経度：N35.7654, E139.8256



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.1.12 自転車（マウンテンバイク）

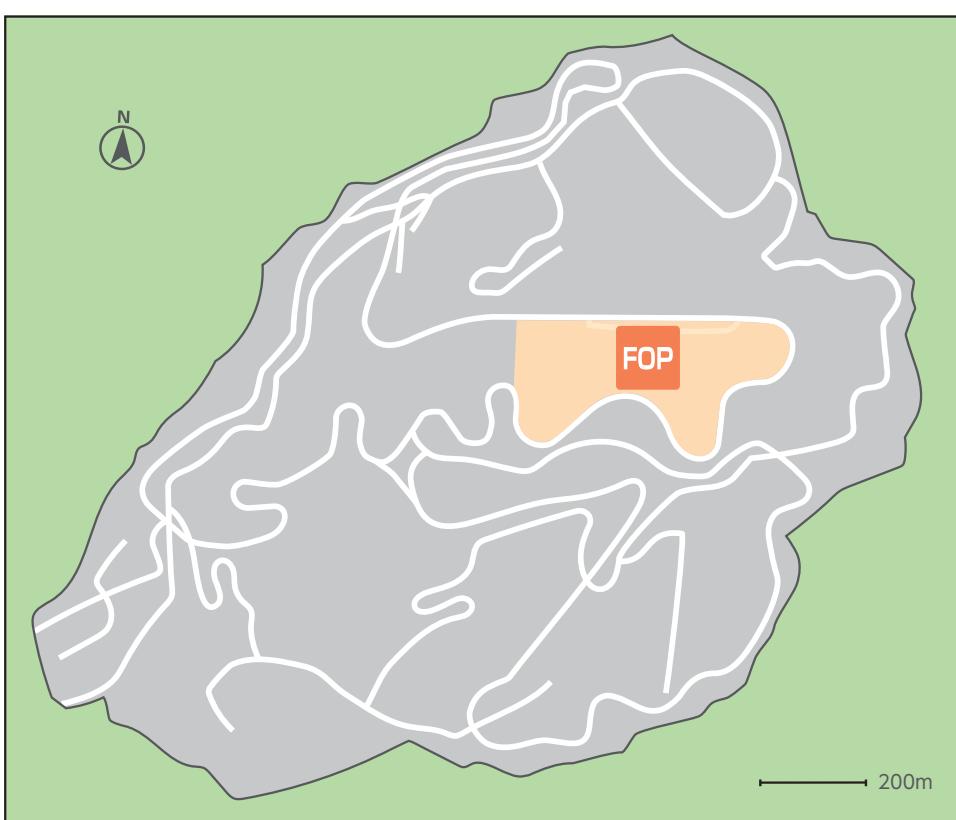
会場名：日本サイクルスポーツセンター

開業：1965 年

収容人数：-

住所：静岡県伊豆市大野 1826

緯度・経度：N35.0110, E139.0127



18.1.13 オリエンテーリング

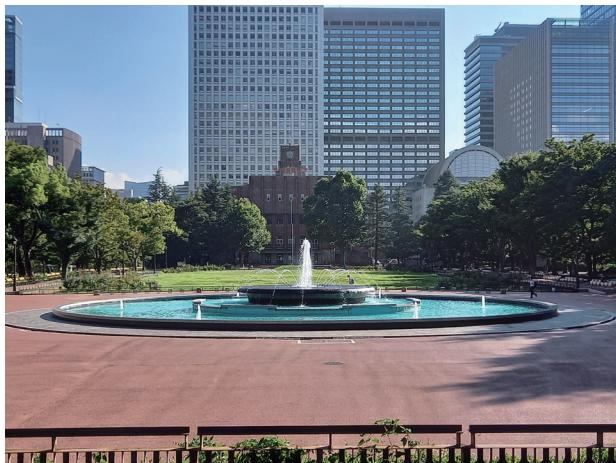
会場名：日比谷公園

開業：1903年

収容人数：-

住所：東京都千代田区日比谷公園 1

緯度・経度：N35.6738, E139.7562



会場名：伊豆大島

開業：－

収容人数：－

住所：東京都大島町泉津字原野

緯度・経度：N34.7371, E139.4243



FOP Field of Play

18.1.14 射撃

会場名：味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト

開業：2019年

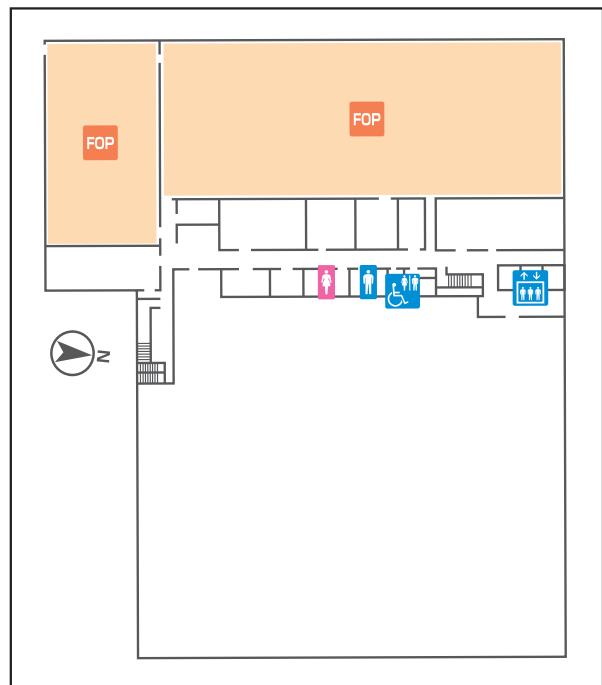
収容人数：-

住所：東京都北区西が丘 3-12-22

緯度・経度：N35.7672, E139.7108



(独) 日本スポーツ振興センター



FOP Field of Play

トイレ

車いす使用者対応トイレ

エレベーター

18.1.15 水泳

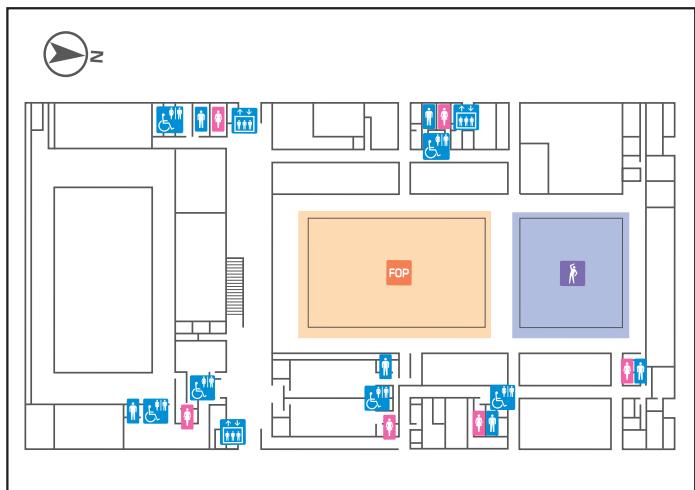
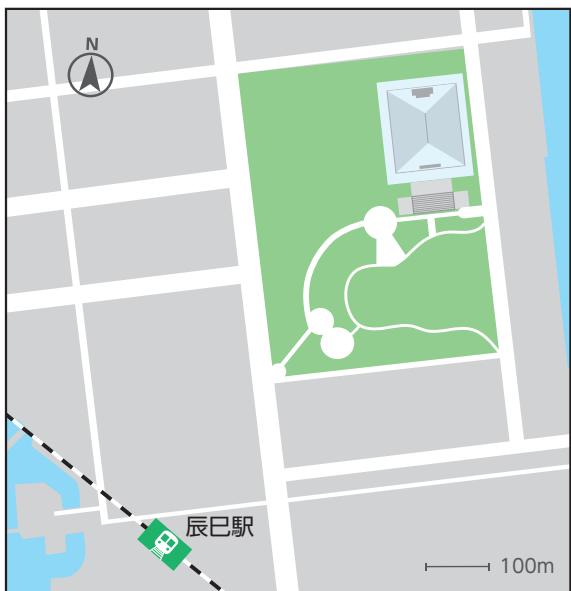
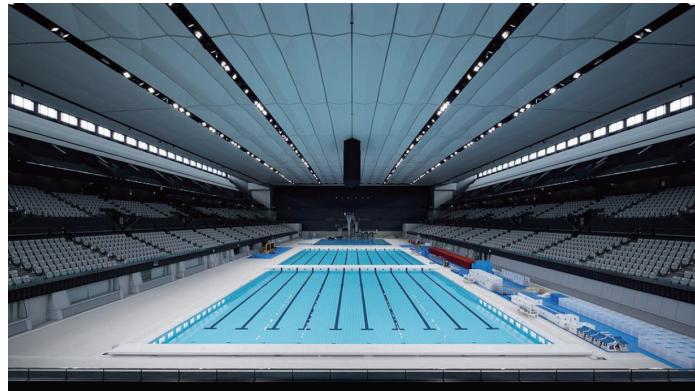
会場名：東京アクアティクスセンター

開業：2020 年

収容人数：5,000 人

住所：東京都江東区辰巳 2-2-1

緯度・経度：N35.6514, E139.8151



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.1.16 卓球

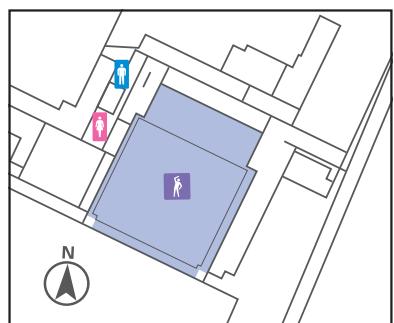
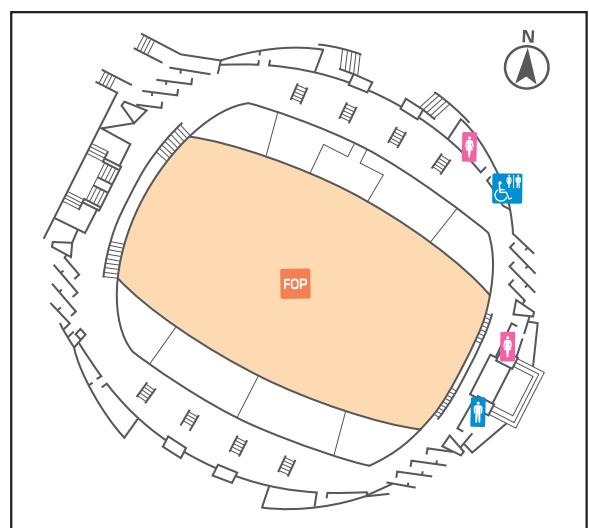
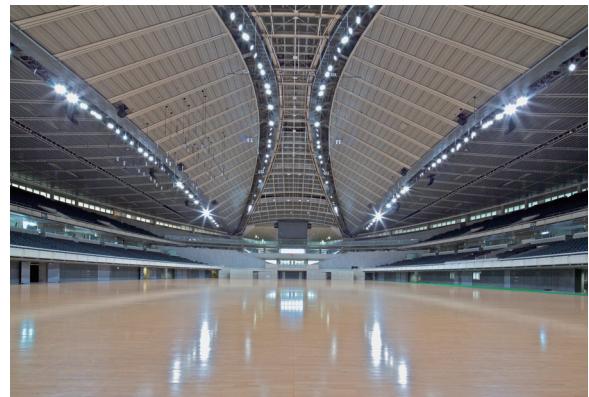
会場名：東京体育馆

開業：1962 年

収容人数：9,308 人

住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1

緯度・経度：N35.6797, E139.7125



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.1.17 テコンドー

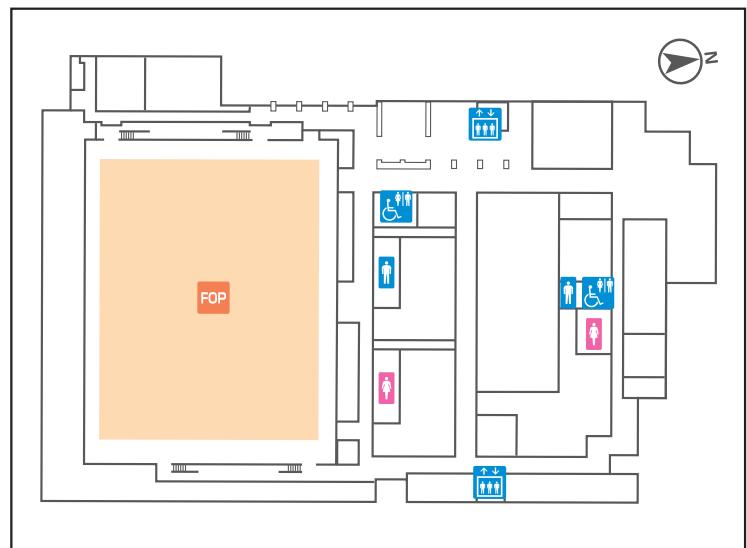
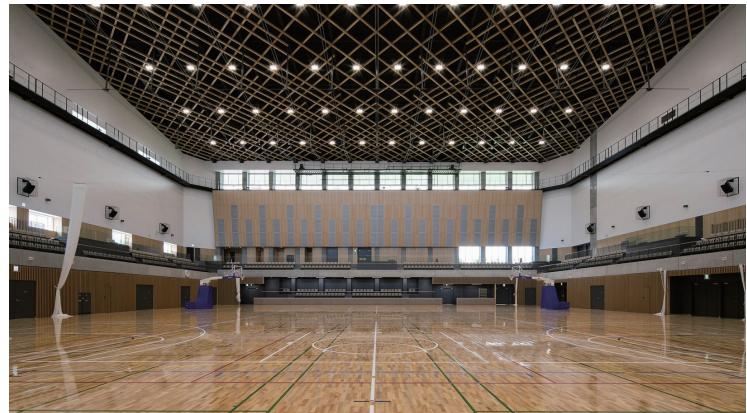
会場名：中野区立総合体育館

開業：2020年

収容人数：804人

住所：東京都中野区新井3-37-78

緯度・経度：N35.7157, E139.6630



Field of Play



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.1.18 テニス

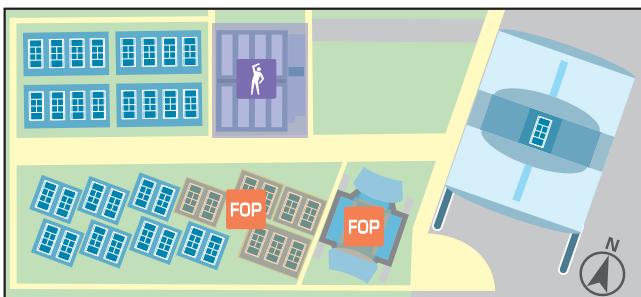
会場名：有明テニスの森

開業：1983 年

収容人数：3,018 人（ショーコート席数）

住所：東京都江東区有明 2-2-22

緯度・経度：N35.6354, E139.7889



FOP Field of Play

 ウォームアップ
エリア

18.1.19 バレーボール

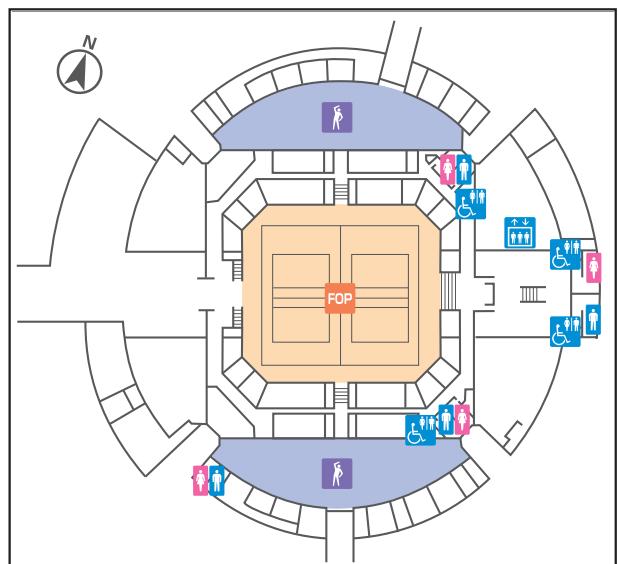
会場名：駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

開業：1964年（改修工事中、2025年再開業予定）

収容人数：2,262人

住所：東京都世田谷区駒沢公園 1-1

緯度・経度：N35.6247, E139.6608



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トイレ



車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.1.20 レスリング（フリースタイル）

18.1.21 レスリング（グレコローマン）

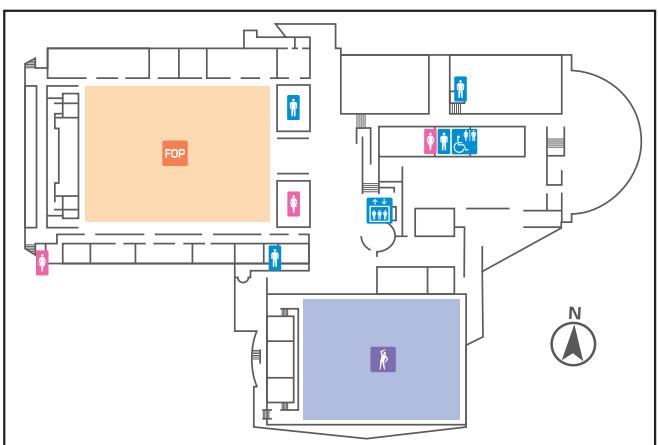
会場名：府中市立総合体育館

開業：1971 年

収容人数：928 人

住所：東京都府中市矢崎町 5-5

緯度・経度：N35.6557, E139.4772



Field of Play



ウォームアップ
エリア



トイレ



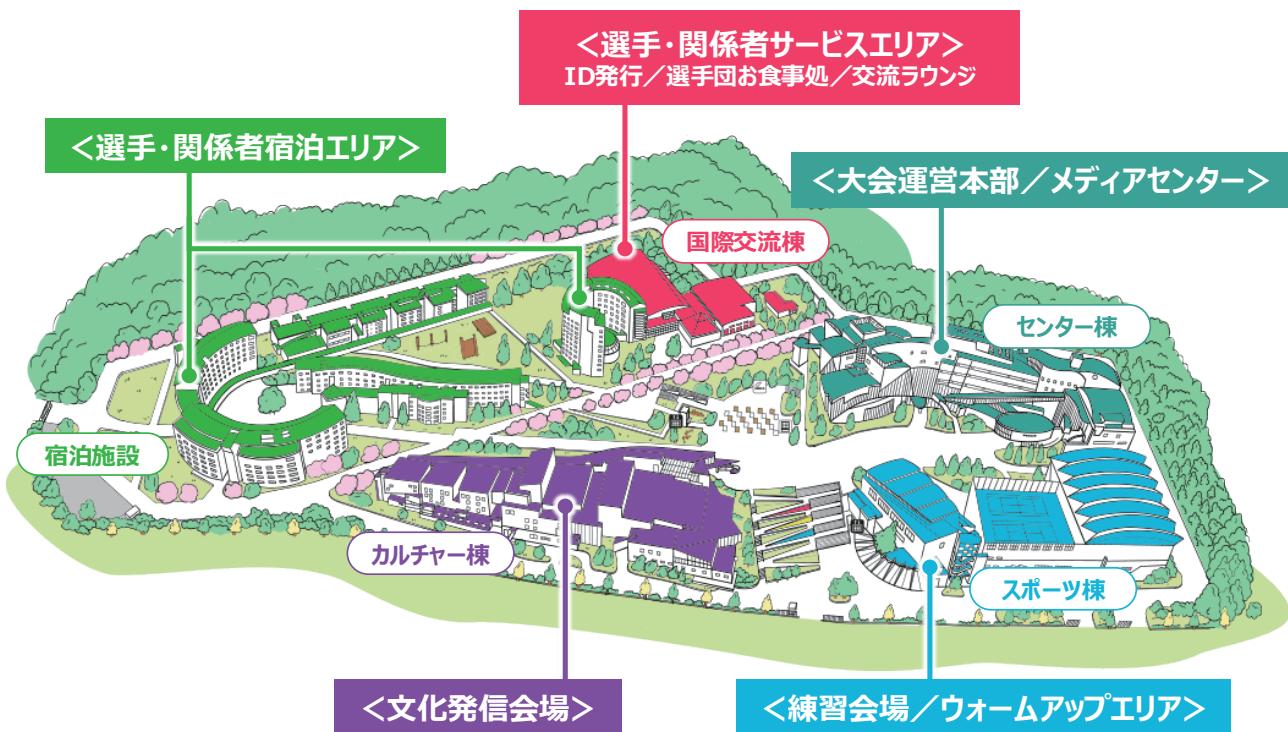
車いす
使用者対応
トイレ



エレベーター

18.2 デフリンピックスクエアの全体図

現時点の各施設の利用想定は、以下のとおりである。



18.3 競技会場・練習会場一覧



競技 No.	競技名	競技会場名
1	陸上競技	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場等
2	バドミントン	武蔵野の森総合スポーツプラザ
3	バスケットボール	大田区総合体育馆
4	ビーチバレー・ボール	大森ふるさとの浜辺公園
5	ボウリング	東大和グランドボウル
6	自転車（ロード）	日本サイクルスポーツセンター
7	サッカー	Jヴィレッジ
8	ゴルフ	若洲ゴルフリンクス
9	ハンドボール	駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場
10	柔道	東京武道館
11	空手	東京武道館
12	自転車（マウンテンバイク）	日本サイクルスポーツセンター
13	オリエンテーリング	日比谷公園、伊豆大島（裏砂漠）
14	射撃	味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト
15	水泳	東京アクアティックスセンター
16	卓球	東京体育馆
17	テコンドー	中野区立総合体育馆
18	テニス	有明テニスの森
19	バレー・ボール	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育馆
20	レスリング（フリースタイル）	府中市立総合体育馆
21	レスリング（グレコローマン）	府中市立総合体育馆
競技 No.	競技名	練習会場名
1	陸上競技	大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
9	ハンドボール	味の素ナショナルトレーニングセンター・ウエスト
3・19	バスケットボール・バレー・ボール	国立オリンピック記念青少年総合センター

18.4 競技日程

◆ デフリンピック競技大会 競技日程一覧表（2024年10月1日現在）

【凡例】 ○：競技日 *：練習日

No.	競技名	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
0	開閉会式						○										○
1	陸上競技	*	*	*	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	バドミントン				*	*	○	○	○	○	○	○	*	○	○	○	
3	バスケットボール				*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	ビーチバレーボール			*	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	ボウリング					*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	自転車(ロード)						*	○	○	*	○	*	○				
7	サッカー		*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	ゴルフ							*	○	○	○	○					
9	ハンドボール				*	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	柔道			*	*	*	○	○	○								
11	空手											*	*	○	○	○	
12	自転車(マウンテンバイク)											*		○	○		
13	オリエンテーリング				*	○	○		*	*	○	○		○			
14	射撃					*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	水泳							*	*	*	○	○	○	○	○	○	
16	卓球							*	*	○	○	○	○	○	○	○	
17	テコンドー										*	*	○	○	○		
18	テニス		*	*	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	バレーボール				*	*	*	○	○	○	○	○		○	○	○	
20	レスリング(フリースタイル)										*	*		○	○		
21	レスリング(グレコローマン)										*	*	○	○			

18.5 競技種目一覧

デフリンピック規約 DG7.5 に従い、5か国と 2つの地域(5:2)の基準を満たさない場合、キャンセルされる可能性がある。

TOKYO 2025 - List of Events

2024年8月1日時点

Technical Regulations "1. EVENTS"

	Sport	Event	Discipline		
			Men	Women	Mixed
1	Athletics	100m	✓	✓	
		200m	✓	✓	
		400m	✓	✓	
		800m	✓	✓	
		1500m	✓	✓	
		5000m	✓	✓	
		10,000m	✓	✓	
		100m Hurdles		✓	
		110m Hurdles	✓		
		400m Hurdles	✓	✓	
		3000m Steeplechase	✓	✓	
		High Jump	✓	✓	
		Pole Vault	✓	✓	
		Long Jump	✓	✓	
		Triple Jump	✓	✓	
		Shot Put	✓	✓	
		Discus Throw	✓	✓	
		Hammer Throw	✓	✓	
		Javelin Throw	✓	✓	
		Heptathlon		✓	
		Decathlon	✓		
		Marathon	✓	✓	
		4x100m Relay	✓	✓	
		4x400m Relay	✓	✓	✓
		10km Race Walk	✓	✓	
2	Badminton	Singles	✓	✓	
		Doubles	✓	✓	
		Mixed Doubles			✓
		Team			✓
3	Basketball	Basketball	✓	✓	
4	Beach Volleyball	Beach Volleyball	✓	✓	
5	Bowling	Singles	✓	✓	
		Doubles	✓	✓	
		Teams	✓	✓	✓
6	Cycling Road	Sprint	✓	✓	
		Individual Time Trial	✓	✓	
		Individual Road Race	✓	✓	
		Points Race	✓	✓	
7	Football	Football	✓	✓	
8	Golf	Individual	✓	✓	
		Team			✓
9	Handball	Handball	✓	✓	
		-60kg	✓		
		-66kg	✓		
		-73kg	✓		
		-81kg	✓		
		-90kg	✓		
		-100kg	✓		

10	Judo	+100kg	✓	
		-48kg		✓
		-52kg		✓
		-57kg		✓
		-63kg		✓
		-70kg		✓
		-78kg		✓
		+78kg		✓
		Team	✓	✓
11	Karate	-60kg	✓	
		-67kg	✓	
		-75kg	✓	
		-84kg	✓	
		+84kg	✓	
		-50kg		✓
		-55kg		✓
		-61kg		✓
		-68kg		✓
		+68kg		✓
		Kumite Team	✓	✓
		Kata	✓	✓
		Kata Team	✓	✓
12	Mountain Bike	Cross-country Olympic: XCO	✓	✓
		Cross-country Short Track: XCC	✓	✓
13	Orienteering	Super Sprint Relay		✓
		Sprint Distance	✓	✓
		Sprint Relay		✓
		Middle Distance	✓	✓
		Long Distance	✓	✓
		Relay	✓	✓
14	Shooting	10m Air Pistol Mixed Team		✓
		10m Air Rifle Mixed Team		✓
		10m Air Pistol	✓	✓
		10m Air Rifle	✓	✓
		25m Rapid Fire Pistol	✓	
		25m Pistol	✓	✓
		50m Rifle 3 Positions	✓	✓
		50m Rifle Prone	✓	✓
15	Swimming	50m Freestyle	✓	✓
		100m Freestyle	✓	✓
		200m Freestyle	✓	✓
		400m Freestyle	✓	✓
		800m Freestyle	✓	✓
		1500m Freestyle	✓	✓
		50m Backstroke	✓	✓
		100m Backstroke	✓	✓
		200m Backstroke	✓	✓
		50m Breaststroke	✓	✓
		100m Breaststroke	✓	✓
		200m Breaststroke	✓	✓
		50m Butterfly	✓	✓
		100m Butterfly	✓	✓
		200m Butterfly	✓	✓
		200m Individual Medley	✓	✓

		400m Individual Medley	✓	✓	
		4x100m Freestyle Relay	✓	✓	✓
		4x200m Freestyle Relay	✓	✓	
		4x100m Medley Relay	✓	✓	✓
16	Table Tennis	Singles	✓	✓	
		Doubles	✓	✓	
		Mixed Doubles			✓
		Team	✓	✓	
17	Taekwondo	-58kg	✓		
		-68kg	✓		
		-80kg	✓		
		+80kg	✓		
		-49kg		✓	
		-57kg		✓	
		-67kg		✓	
		+67kg		✓	
		Poomsae Individual	✓	✓	
		Poomsae Pair			✓
18	Tennis	Singles	✓	✓	
		Doubles	✓	✓	
		Mixed Doubles			✓
19	Volleyball	Volleyball	✓	✓	
20	Wrestling Freestyle	57kg	✓		
		65kg	✓		
		74kg	✓		
		86kg	✓		
		97kg	✓		
		125kg	✓		
		50kg		✓	
		53kg		✓	
		57kg		✓	
		62kg		✓	
		68kg		✓	
		76kg		✓	
		60kg	✓		
21	Wrestling Greco-Roman	67kg	✓		
		77kg	✓		
		87kg	✓		
		97kg	✓		
		130kg	✓		

Total of Sports:

21

Total of Events:

223

108

101

14

18.6 東京 - 日本の紹介

東京は伝統と革新が共存する多彩な魅力により世界中から多くの旅行者が訪れる国際観光都市である。

江戸時代から続く伝統文化や最先端のテクノロジーに加え、アニメ・マンガに代表されるポップカルチャー、さらには多摩・島しょ地域の豊かな自然など「宝物」が豊富にある。

そして、東京の「食」には、海外の旅行者が高い関心を寄せている。食材にも恵まれる中、江戸前寿司などの和食をはじめ、世界中の多彩な食が楽しめる。

- 東京ブランド公式サイト

<https://tokyotokyo.jp/ja/home/>

- 東京の観光公式サイト

<https://www.gotokyo.org/index.html>

- 東京の多摩と島の観光サイト

<https://tamashima.tokyo/>

18.7 飲食施設の情報

- EAT Tokyo

[EAT Tokyo | Search Page for Restaurants with Multilingual Menus \(menu-tokyo.jp\)](#)

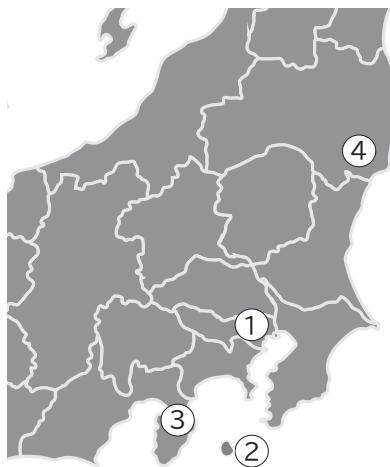
18.8 公共交通機関の全体図

(日本語) · <https://www.pasmoco.jp/area/train/all.pdf>

(English) · [JR East Railway Major Route:Metropolitan Area](#)

18.9 会場ゾーン別の気象情報

観測地点マップ・詳細位置情報



地点	緯度 / 経度	所在地
① 東京（北の丸公園）	北緯 35 度 41.5 分 東経 139 度 45.0 分	東京都千代田区北の丸公園
② 東京（大島）	北緯 34 度 44.9 分 東経 139 度 21.7 分	東京都大島町元町字家の上
③ 静岡（網代）	北緯 35 度 02.7 分 東経 139 度 05.5 分	静岡県熱海市網代
④ 福島（小名浜）	北緯 36 度 56.8 分 東経 140 度 54.2 分	福島県いわき市小名浜字船引場

気温5カ年分まとめ (°C)	11月15日					11月21日					11月25日						
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		
東京（北の丸公園）	最高気温	17.1	18.6	20.4	14.4	14.3	15.7	20.2	15.8	17.8	17.6	21.9	12.1	18.5	17.8	13.5	
	最低気温	9.7	7.5	9.5	9.4	9.8	8.5	11.1	9.4	10.8	6.7	12.1	9.2	6.0	10.5	8.4	
	日平均気温	12.6	13.4	14.3	11.1	11.8	11.3	16.6	12.5	13.4	11.9	16.6	10.5	12.3	13.5	10.5	
	グラフ																
	最高気温 (5年平均)	17.0					17.4					16.8					
	最低気温 (5年平均)	9.2					9.3					9.2					
	日平均気温 (5年平均)	12.6					13.1					12.7					
	最高気温	18.5	20.3	20.2	15.4	14.7	15.5	20.6	16.1	17.9	17.8	23.4	14.9	16.7	18.2	13.4	
	最低気温	9.8	9.5	9.8	10.4	12.3	10.3	14.6	13.3	13.0	10.5	14.4	10.9	11.4	12.0	11.1	
	日平均気温	13.8	15.9	13.8	13.0	13.5	13.2	17.2	14.2	15.1	13.6	19.4	12.5	14.3	15.5	12.0	
東京（大島）	グラフ																
	最高気温 (5年平均)	17.8					17.6					17.3					
	最低気温 (5年平均)	10.4					12.3					12.0					
	日平均気温 (5年平均)	14.0					14.7					14.7					
	最高気温	16.4	19.4	18.8	14.7	14.2	15.1	20.6	15.6	18.6	17.5	22.8	13.8	16.0	16.8	12.9	
	最低気温	9.7	11.6	11.6	10.9	11.3	8.5	13.2	11.7	13.3	9.7	13.3	10.9	8.9	11.4	10.2	
	日平均気温	12.9	15.2	15.0	13.1	12.9	11.4	17.0	13.2	15.3	13.8	18.3	12.4	13.0	14.2	11.3	
	グラフ																
	最高気温 (5年平均)	16.7					17.5					16.5					
	最低気温 (5年平均)	11.0					11.3					10.9					
網代（静岡）	日平均気温 (5年平均)	13.8					14.1					13.8					
	最高気温	14.7	17.1	19.2	11.9	14.2	14.4	17.4	15.4	17.4	15.5	21.6	11.0	16.6	16.4	9.9	
	最低気温	6.6	3.3	6.9	7.2	6.8	4.1	8.6	5.8	9.8	5.3	8.8	8.0	3.7	7.2	4.5	
	日平均気温	10.5	10.7	13.4	10.3	9.7	8.9	13.8	10.7	13.2	10.8	14.5	9.7	10.3	11.7	7.1	
	グラフ																
	最高気温 (5年平均)	15.4					16.0					15.1					
	最低気温 (5年平均)	6.2					6.7					6.4					
	日平均気温 (5年平均)	10.9					11.5					10.7					
	最高気温	14.7	17.1	19.2	11.9	14.2	14.4	17.4	15.4	17.4	15.5	21.6	11.0	16.6	16.4	9.9	
	最低気温	6.6	3.3	6.9	7.2	6.8	4.1	8.6	5.8	9.8	5.3	8.8	8.0	3.7	7.2	4.5	
福島（小名浜）	日平均気温	10.5	10.7	13.4	10.3	9.7	8.9	13.8	10.7	13.2	10.8	14.5	9.7	10.3	11.7	7.1	
	グラフ																
	最高気温 (5年平均)	15.4					16.0					15.1					
	最低気温 (5年平均)	6.2					6.7					6.4					
	日平均気温 (5年平均)	10.9					11.5					10.7					
	最高気温	14.7	17.1	19.2	11.9	14.2	14.4	17.4	15.4	17.4	15.5	21.6	11.0	16.6	16.4	9.9	
	最低気温	6.6	3.3	6.9	7.2	6.8	4.1	8.6	5.8	9.8	5.3	8.8	8.0	3.7	7.2	4.5	
	日平均気温	10.5	10.7	13.4	10.3	9.7	8.9	13.8	10.7	13.2	10.8	14.5	9.7	10.3	11.7	7.1	
	グラフ																
	最高気温 (5年平均)	15.4					16.0					15.1					
	最低気温 (5年平均)	6.2					6.7					6.4					
	日平均気温 (5年平均)	10.9					11.5					10.7					

18.10 協賛企業

● トータルサポートメンバー



はとバス



